

地方史情報 154

2022年3月

地方史研究雑誌目次速報 飯澤文夫 編

*本誌に掲載した雑誌に関するお問い合わせは、発行元に直接お願いします。

北海道	1	富山県	28	岡山県	48
青森県	4	山梨県	29	広島県	50
宮城県	4	長野県	29	徳島県	51
秋田県	6	静岡県	34	愛媛県	51
福島県	8	愛知県	35	福岡県	53
茨城県	9	滋賀県	36	佐賀県	54
栃木県	10	京都府	37	宮崎県	55
群馬県	10	大阪府	41	鹿児島県	55
千葉県	12	兵庫県	44	沖縄県	56
東京都	13	奈良県	46	寄贈図書	57
神奈川県	23	和歌山県	47		
新潟県	26	島根県	48		

北海道

◆アイヌ語地名研究会会報

〒001-0017札幌市北区北十七条西1丁目1-1 コーポ望 FAX011-728-6400
年5000円

◇86 2022.1 B5 8p

第24回アイヌ語地名研究大会終わる 講演 「狄言葉成立の研究」 葛野大樹さん／研究発表 「岩見沢のアイヌ語地名」「三笠市にあるタブコブの地名」 山下栄光さん、「アイヌ語地名にみられる存在を表わす他動詞」 故切替英雄先生／研究発表 「ペーパンの意味を地形の特徴から考える」 小林耕一さん、「樺太アイヌの戦後」 楢木貴美子さん、樺太アイヌ民族楽器(トンコリ、カーニムックン)、「地名さつほろ採録350年、札幌・野幌・篠路」 中野克良さん、「札幌地名

の由来」渡辺隆さん、「栗山町及び石狩平野のアイヌ語地名に関する神秘的・天文学的地名解と確率評価」中野良宣さん

研究大会の感想

うれしかった研究大会の開催

中野 克良

難しかったアイヌ語文法

平井 順子

定期総会終わる

◆文化情報 北海道文化財保護協会

〒060-0002札幌市中央区北二条西7丁目 かでる2・7ビル9階

TEL011-271-4220 <http://hokkaido-bunkazai.jp>

◇387 2022.1 A4 8p

村にそびえる樺太開拓記念碑

須田 真矢

第57回北海道文化財保護功労賞 受賞契機に活躍を期待

“三十年一日”を念じて

札幌建築鑑賞会

過去から現在そして未来へ伝えたい—縄文の豊かな精神

オコンシベの会

受賞契機に活躍を期待 これまでの活動

置戸町郷土史研究会

“道外文化めぐり” 心と目そして足で巡った南房総の文化財

遠藤紘之助

「文化の礎」—装演師

玉井日出夫

シリーズ 伝える 大和田囃子に由来 雨紛囃子

—受け継がれる地域のたからもの

中川 明雄

まちのイチオシ 新篠津村農業開拓の歴史

篠津地域泥炭地開発・「篠津運河」の再生

貝田 雄介

創立60周年記念 第1回文化財講演会

わたくしの90年の歩み—北海道の文化とともに

舟山 廣治

博物館ひろば 登別市郷土資料館40周年 歩み伝える新たな展示

平塚 理子

国重要文化財に答申 ニッカウキスキー余市蒸留所施設 10棟(余市

町)、旧三井銀行小樽支店 2棟(小樽市)／国天然記念物に答申

礼文島桃岩一帯の高山植物群落(礼文町)

◆北方民族博物館だより 北海道立北方民族博物館

〒093-0042網走市潮見309-1 TEL0152-45-3888 1991年創刊

<http://hoppohm.org>

◇122 2021.9 A4 6p

第36回企画展「トナカイと暮らす—タイガの遊牧民たち」

中田 篤

講演会 トナカイとの暮らし—モンゴルの森で

講師：西村幹也氏

中田 篤

- 館長講座 シベリアのトナカイ遊牧民コリヤーク フィールドワーク
 の25年と館所蔵の民族資料 講師：呉人恵 呉人 恵
 調査報告 奥尻島のオホーツク文化調査 担当：種石悠 種石 悠
 ロビー展「アイヌ民族の現在1 ラポロアイヌネイション」
 主催：北海道立北方民族博物館、ラポロアイヌネイション、浦幌町
 立博物館 野口 泰弥
 ロビー展「写真で振り返る日本のアラスカ調査」/第35回北方民族文
 化シンポジウム 網走 大林太良・学問と北方文化研究—大林太良
 先生没後20年記念シンポジウム
- ◇123 2021.12 A4 8p
 第35回北方民族文化シンポジウム 網走 大林太良・学問と北方文化
 研究—大林太良先生没後20年記念シンポジウム 第1部 大林先生
 の学問研究とその魅力 「大林太良先生の歴史民族学のルーツ—岡
 正雄、R.ハイネ＝ゲルデルンとA.イエンセンの恩師たち」（クライ
 ナーヨーゼフ氏／ボン大学）、「周縁部から見る中国のエスニティ
 —雲南省大理盆地のペー族の動態」（横山廣子氏／国立民族学博物
 館）、「大林太良先生の神話学」（松村一男氏／和光大学）、「大林太
 良の遺産」（石井正己氏／東京学芸大学）、「牧畜的な集団観の
 今：チングスンハーンのカザフ人末裔たちとのめぐりあいから」
 （シンジルト氏／熊本大学）/第2部 北方文化研究の可能性「国立
 アイヌ民族博物館の役割—アイヌ文化研究の方向性」（佐々木史郎
 氏／国立アイヌ民族博物館）、「環北太平洋地域の先住民文化に関す
 る比較研究—大林太良と渡辺仁の視点」（岸上伸啓氏／人間文化研
 究機構・国立民族学博物館）、「北方狩猟採集民文化の形成：民族起
 源論から集団系統論へ」（加藤博文氏／北海道大学アイヌ・先住民
 研究センター）、「エミシ研究とシベリア研究における民族学的視
 座」（高倉浩樹氏／東北大学東北アジア研究センター）、「日本の北
 方文化研究における千葉大学の役割と日露研究協力関係」（吉田陸
 氏／千葉大学）、「北方研究における大林太良博士の功績とその言語
 学的意義」（呉人恵／北海道立北方民族博物館） 中田 篤
 特別展関連講座 西シベリアの働き者—トナカイの飼育とイヌ—
 講師：大石侑香氏 中田 篤
 特別展関連講座 ロシアのトナカイ牧畜—歴史・現状・展望
 講師：吉田陸氏 中田 篤
 ロビー展「写真で振り返る日本のアラスカ調査」 主催：北海道立北
 方民族博物館 共催：北極域研究加速プロジェクト（ArCSII） 野口 泰弥

講座 日本の調査隊のアラスカ考古学への寄与 講師：岡田淳子氏 野口 泰弥
 日本北方言語学会 第4回研究大会(兼国際シンポジウム) 呉人 恵
 はくぶつかんクラブ／講習会 紙ストローでつくるヒンメリ／ヒンメリづくり 講師：山本陸子氏 笹倉いる美
 ロビー展「道東の捺文文化」／ロビー展「オホーツクシリーズ15 北
 の状景から」

青 森 県

◆八戸地域史 八戸歴史研究会（発行：伊吉書院）

〒039-1164八戸市下長2-7-19 三浦忠司方 TEL0178-38-7376 1982年創刊

◇58 2021.12 A5 64p 900円

口絵 有壁宿本陣に残る八戸藩主・室の関札（八戸市博物館図録『八戸藩』所載）

北村益の演武映像と北村小松	滝尻 善英
なぜ鍛冶町で信用金庫が誕生したのか	
庶民のための金融機関と病院を立ち上げた男たち	高橋 俊行
八戸藩の伝馬制と参勤交代	三浦 忠司
みじか史 「八戸藩の養目秘伝」考察	黄綿 昶行
書評 斎藤潔著『八戸藩人々の暮らし』	藤田 俊雄

宮 城 県

◆市史せんだい 仙台市博物館

〒980-0862仙台市青葉区川内26 TEL022-225-3074 1992年創刊

<http://www.city.sendai.jp/Kyouiku/Museum/>

◇30 2021.12 A5 154p

ごあいさつ 高橋 泰

第一特集「歴史資料の保存・活用と自治体史編さん事業」

座談会 歴史資料の保存・活用と自治体史編さん事業

平川新／安達宏昭／七海雅人／蓮沼素子
 ／小原茉莉子／菅野正道／樋口智之

歴史資料を守り、伝えるために

一大規模自然災害からの地域歴史資料救出・保全から考える 川内 淳史

市史編さん収集資料の概要—古文書・公文書等の資料群を中心に 倉橋 真紀

第二特集「伊達政宗文書」

史料紹介 伊達政宗文書・補遺(十四)

「伊達政宗文書・補遺(一)～(十四)」総目録

普及活動報告

『市史せんだい』刊行終了と「仙台市史活用推進事業」刊行物について

表紙写真解説 治家記録 元禄16年～明治9年 仙台市指定文化財 長澤 伸樹



*1992年3月に仙台市史編さん事業の機関誌として創刊され、編さん事業の活動報告、時々の特集テーマに合わせた座談会・論文、『仙台市史』に収録できなかった調査・研究成果などを掲載してきた。だが、2014年度で市史刊行が終了し、そこから7年が経過し、一定の役割を果たしたとして、vol.30をもって終刊となった。

当号には、『市史せんだい』vol.1-30、及び、2015年度から始まった編さん事業成果の活用と新たに調査・資料収集を行う「仙台市史活用推進事業」に伴って刊行された、歴史ガイドブック、事業報告書、『授業で使える仙台の歴史余話』ほかの活用資料集の書影を掲げている。

なお、『市史せんだい』vol.1-27収録の論考一覧は、vol.28(2016.9)に掲載されている。また、当号で紹介されている新出の伊達政宗文書は、『仙台市博物館調査研究報告』に掲載する予定とのことである。

◆史の杜 上廣歴史資料科学研究部門ニューズレター

東北大学東北アジア研究センター

〒980-8576仙台市青葉区川内41 TEL022-795-3140 2013年創刊

<https://uehiro-tohoku.net>

◇11 2022.1 A4 8p

古文書のひろば

江戸時代北東北の獣医学書

鈴木 淳世

『封内土産考』著者・里見藤右衛門の遺書 藤方 博之
 古文書から見える上山藩士のお仕事—上山藩「御側目付心得」を手
 がかりに 長南 伸治
 調査の現場から 弾丸調査のあとさき 鈴木紗江子
 地域との歩みのなかで 須賀川市立博物館との共同調査・展示活動 野本 禎司

◆歴史 東北史学会

〒980-0862仙台市青葉区川内 東北大学大学院文学研究科 日本史研究室

TEL022-217-6064 年4000円 1949年創刊

<http://www.sal.tohoku.ac.jp/nihonshi/t-shigakukai/>

◇137 2021.10 A5 128+24p 2100円

文景の治 佐々木仁志
 多賀城の創建と大宰府—創建をめぐる人的構図 吉野 武
 多賀城碑建立と新羅侵攻計画の関連性 柳澤 和明
 明治後期における中国人留学生と成女学校「支那女学生部」 林 玢雅
 一括廃棄遺構からみた平安時代の土器とその使用 館内 魁生
 書評
 徳竹剛著『政治参加の近代—近代日本形成期の地域振興』 小幡 圭祐
 加藤諭著『大学アーカイブの成立と展開—公文書管理と国立大学』 西山 伸
 紹介 東北学院大学文学部歴史学科編『大学で学ぶ東北の歴史』 白根 靖大

秋 田 県

◆秋田歴研協会誌 秋田県歴史研究者・研究団体協議会

〒010-0811秋田市泉釜ノ町16-5 渡辺方 1996年創刊

<http://akita-nct.ac.jp/~wakino/rekiken.html>

◇76 2021.12 B5 34p

表紙 鱗勝院山門（秋田市旭北栄町）

特集 秋田の城館Ⅳ

発掘調査からわかった大館城 馬庭 和也
 にかほ市の居館—特に山根城・塩越城について 齋藤 稔
 用語解説 分限帳(7)（桧山・大館・十二所分） 半田 和彦
 歴史情報
 式内社に向かう 道路遺構—大仙市神宮寺薬師遺跡 神宮 滋
 雄勝郡役所文書を読む 伊藤 寛崇

新刊紹介

石井正己著『旅する菅江真澄 和歌・図絵・地名でたどる』	小笹 鉄文
谷内征美著『秋田の戊辰戦争と小銃 付属関連資料』	渡辺 修
シリーズ加入団体紹介(4) 秋田県歴史教育者協議会	細川 愛

◆菅江真澄研究 菅江真澄研究会

〒011-0909秋田市寺内兎桜1-5-55 古四王神社社務所内 TEL018-845-0333

1981年創刊 <http://w2.amn.ne.jp/~sugae/masumi.html>

◇97 2021.12 B5 16p

真澄の天明飢饉記述 金児 絃征

特集 山田實元会長追悼

山田實元会長追悼 小笹 鉄文

少年の心を抱き続けた人 第四代山田實会長を偲んで 菊地 利雄

メンコのジョッコ 大石 淳

山田實先生 ありがとうございます 大石貴志子

山田實さんからの手紙 石田 冲秋

山田先生の描いた神楽の思い出 赤川與之助

我が家の宝物 揮毫「五風庵」 山本 次夫

連載 真澄の一枚(29) 津軽のシソと木皮セッタ

『粉本稿』より(大館市立栗盛記念図書館提供) 菊地 利雄

真澄短信 特別展「芭蕉と真澄一磐井を旅した人々」 一関市博物館

(小笹記)、山本次夫氏秋田県文化功労賞受賞

図書紹介 菊池正浩著『菅江真澄 津軽隠れ里紀行』 紹介者・寺澤康世

刊行物の紹介 『北の歴史から』第4号 菊池勇夫、『東北民俗』第55

号 東北民俗の会、『秋田民俗』第47号 秋田県民俗学会

◆北方風土 北方風土社

〒019-1541仙北郡美郷町土崎字上野乙1-254 森本彌吉 TEL0187-85-4027

1980年創刊

◇80 2021.12 A5 263p 2000円

鬼剣舞の源流 小田島清朗

大仙市神宮寺八幡神社の本殿建築年代について 神宮 滋

薩埵峠と馬峠—アイヌ語地名 静岡県と岩手県と青森県 松橋 由雄

雷の天気俚諺 稲 雄次

土葬と火葬と風葬—遠野市の「デンデラ野」は火葬場だった

遠野市の「デンデラ野」は火葬場だった 松橋 由雄

金沢城跡は金沢柵か? 加藤慎一郎

大浦沼に記念物級の浮島が発見一大仙市神宮寺字大浦入	神宮 滋
秋田考古随想 父のふる里と縄文 二少女の物語	林 浩平
史料編 進藤貞吉著『道中記』(10)	解説・翻刻・注記・編集 相馬登
那珂久左衛門家、二つのファミリーヒストリー	
文化元年と明治九年の悲運、子孫の零落とのたたかい	那珂 通義
承応二年・細井金太夫光信の系譜(前編)	太田 豊
資料編 首都圏秋歴史と文化の会 小録―一陣の風の如し	神宮 滋

福島県

◆フークトープ通信 フークトープ通信社

〒960-8021福島市霞町9-38 シュタースティエ102室 山田英明方

2015年創刊

◇47 2022.2 A4 2p

結城素明印章「蘇迷廬」と文豪夏目漱石

佐川 庄司

フークトープ紀行(47) オニースト(二本松市ほか)

佐藤 孝輔

◆ふくしまの歴史と文化財 文字摺通信

〒960-8204福島市岡部字東町35-6 守谷早苗

◇7 2022.1 A4 4p

提言 200年近い伝統、日本三大こけし

土湯伝統こけし制作技術を市無形文化財に指定を
 福島の神仏分離(2) 羽黒山大権現と黒沼大明神の関係が…
 毘にかかった猿を見て、何もできませんでした

◇8 2022.1 A4 4p

村葬 NOと言えない社会づくり

黒沼大明神の故郷(?)とゴンボ狐

◇9 2022.2 A4 4p

提言 戦前移民史のシンボル 荒井の外国渡航記念燈を市指定史跡に
 大正14年2月11日付『福島民報』にこんな記事が掲載されました。
 「信達地方の海外渡航者男女で千八百名 昨年度の送金額は十二萬
 余円」

懸田弘訓氏コレクションより

子守唄はなぜか寂しく、かくも悲しい…

羽黒山真浄院を訪ねてきました

「(観音様を)鳥頭之舟にて御かつぎ申し候」

◇10 2022.2 A4 4p

文化財探訪 山舟生和紙づくり伝承館

八巻さんの職人芸にただただ驚嘆!

地域の小さな手作り博物館(1) 東湯野・ふるさと歴史館

茨城県

◆茨城の民俗 茨城民俗学会

〒310-0036水戸市新荘2-8-16 今瀬文也方 TEL029-350-3310

年3000円 1963年創刊 <http://www.minzoku.net>

◇60 2021.11 B5 128p

《特集 病気》

特集 病気

フランスでの入院体験

久家けい子

眼を患うはなし—八十の坂

鶴尾 能子

糖尿病と木食

大森 政美

病気との長い付き合い

渡辺 敦子

病気にかかわる伝承二題

清水 亨桐

人生100年代の健康とユニカール競技

飯村 保

茨城における浜降り祭の起源(4)

黒澤 雅博

霞ヶ浦出島の墓制2 集落の中の埋葬墓地と石塔場、石塔場としての

集落寺院—かすみがうら市男神集落の事例から

古谷野洋子

玉造の宮本家、紀州高野山に墓石を建てる

近江 礼子

削られた鳳凰城址—地名を手掛かりにして

清水 秀世

「まかねふく」は製鉄を意味する枕詞か

久保 衆伍

茨城のまつり見聞録(5)

長江 慶治

日立の蛇塚について

梶山 廣吉

情け的那珂湊は今も変わらない情けの湊だろうか

菊池 敏明

「えみし」と「日高見国」(2)

松崎健一郎

◆近代史料研究 日本近代史研究会

〒305-8571つくば市天王台1-1-1 筑波大学歴史人類学系 中野目研究室内

TEL029-853-4066 2001年創刊

◇21 2021.10 A5 103p

雑誌『種蒔く人』の読者層—投書欄の分析を手がかりに

水谷 悟

勝田主計の世界一周旅行(一九一四年)

- 『遇戦閑話』と『黒雲白雨』の分析を中心に 久保田裕次
 「座談会」前後の西谷啓治
 —西谷啓治記念館所蔵「洪澤信雄宛西谷書簡」の検討を通して 加藤総一郎
 小田原市立中央図書館所蔵「高橋健三郎宛陸羯南書簡」の概要
 —テキストの整備と記述内容の検討 中野目徹／田中友香理

栃 木 県

- ◆**歴史だより** 栃木県歴史文化研究会会報
 〒320-0865宇都宮市睦町2-2 栃木県立博物館内 TEL028-634-1313
 年4000円 1991年創刊
- ◇122 2022.1 A4 4p
 《特集 鎌倉殿と下野の御家人》
- | | |
|--------------|-------|
| 鎌倉殿と八田知家と茂木氏 | 大山 恒 |
| 鎌倉殿と那須光資 | 重藤 智彬 |
| 鎌倉殿と足利義兼・義氏 | 稲川 裕己 |
- 企画展案内
- | | |
|-------------------------------------------------------|-------|
| 鹿沼まるごと博物館 第7回企画展「災禍の祈り」 | 川上日菜子 |
| 栃木県立文書館 開館三十五周年記念企画展「栃木と疫病一人々は
いかにして疫病に立ち向かってきたのか」 | 直井 康幸 |

群 馬 県

- ◆**群馬地名だより** 群馬地名研究会
 〒379-2144前橋市下川町6-16 井野修二方 TEL027-265-3859 1989年創刊
- ◇100 2020.12 B5 14p
 「群馬地名だより」第一〇〇号を祝う 澤口 宏
 群馬地名だより百号に寄せて 田村 祐司
 渋川例会の思い出 中村 倫司
 難解地名ハッ場を訪ねて 阿佐美良雄
 赤城山の地獄地名 石田 和男
 大桁(オホケタ) 角田賀津三
 3つの赤堀(あかほり・あかほり)考 久保田幸男
 おちょうがな 齋藤 憲衛
 地名研究会に入会させていただいて 須田 茂
 ぐんま地名だより 主な掲載文題名

◆群馬文化 群馬県地域文化研究協議会

〒372-0831伊勢崎市山王町38-38 前澤和之方 年4000円 1957年創刊

<https://gunmabunka.org/wp/>

◇344 2021.12 A5 79p

研究大会誌上発表 《シリーズ 上武国境地域の諸相》vol.1

「上武国境山間地域の歴史と文化」

戦国前期武蔵国秩父郡における武家権力 森田 真一

質疑・所感 野口 華世

上武国境地域南側の霊山と信仰—三十一番観音院と薄の薬師堂 高橋 稔

質疑・所感 小嶋 圭

「上武国境山間地域の歴史と文化」の総括 小嶋 圭

中世後期曹洞宗寺院における禅学修行について

—上野国室田長年寺蔵『龍瑞記』と『鳳瑞記』を例に 山本 世紀

口頭伝承の中のボタモチ 横田 雅博

タタラの伝承が残る沼—多々良沼遺跡と豎形炉 宮田 圭祐

群馬の歴史的建造物 (5) 冠稲荷神社 小林 則子

新刊紹介

若狭徹著『古墳時代東国の地域経営』 須永 忍

群馬県立歴史博物館編『戦国人—上州の一五〇傑』 久保田順一

口絵 月岡芳年『新形三十六怪撰』より「為朝の武威痘鬼神を退く図」

—群馬県立歴史博物館蔵品資料(145)

◆群馬歴史散歩 群馬歴史散歩の会

〒379-2154前橋市天川大島町317-1 TEL027-223-2785

年4500円 1973年創刊 <http://www16.plala.or.jp/kuzira226/>

◇269 2021.11 A5 57p

口絵 吉見百穴(埼玉県吉見町) 井野 修二

群馬県知事 神山閔次—一府十四県聯合共進会を実施した県知事 井野 修二

左部彦次郎—足尾鉍毒事件支援に関わった群馬の一青年 石山 幸弘

群馬県土木課長 磯村應—群馬県の近代化につくした土木担当者 井野 誠一

『白衣観世音建立之趣旨』余話(6)

—全国最年少市長久保田宗太郎が寄せた祝辞 田口 正美

寸戸百磨と記された木部百磨 井野 修二

伊賀・南大和への旅—伊賀上野・長谷寺・室生寺 山崎 正

宿泊による歴史散歩(1泊2日~3泊4日) 令和3年まで 事務 局

表紙写真 吉見百穴 井野 修二

千 葉 県

◆我孫子市史研究センター会報

〒270-1152我孫子市寿1-3-12 荒井方 TEL04-7182-2838

<http://abikosisiken.main.jp>

◇235 (通542) 2022.1 A4 26p

新年のごあいさつ 岡本 和男

井上家文書研究部会 12月の活動報告 御用留解読参考資料その4—
巡見について、年表：元文元年～寛延2年(清水さん作成) 松本 守

古文書解読日曜部会 12月の活動報告
安永8年裁許書請書、相頼申一札之事 中川 健一

古代の我孫子「相馬郡とその郷名」 星野 征朗

歴史探訪部会 12月の活動報告
探訪「我孫子市内の歴史遺産を巡る—その1」 長谷川秀也

我孫子の社寺を訪ねる(41) 布佐下新田・浅間前新田 近江 礼子

古文書解読火曜部会 12月の活動報告
元禄五年「中峠村田畑社地不残大概書」(その2 終了) 加藤 直道

市教委による“出前講座”を開催 東 日出夫

「我孫子市文化財保存活用地域計画」説明会報告 宗岡 恒雄

「出前講座」文化財保存活用計画説明会に参加して 美崎 大洋

「我孫子市文化財保存活用地域計画」説明会に参加して 新井 利雄

◇236 (通543) 2022.2 A4 16p

市史研の書籍、「歴博」で販売決定！ 荒井 茂男

故松本庸夫さんを悼む 中澤 雅夫

『将門記』王城の地」歴史講話の会報告 講師：山路直充氏 宗岡 恒雄

歴史講話の会に参加して 鈴江江里子

合同部会活動報告

我孫子の社寺を訪ねる(42) 中峠・中里地区の社寺 東 日出夫

合同部会 1月の活動報告 竹内神社、愛宕八坂神社 山本 包介

資料紹介(1) 昭和57年(1982)4月の会報(B 4片面) 茂木 勝己

古文書解読日曜部会 1月活動報告

文化十年「鮮駄賃元払方扣帳」(布佐増田家文書) 脇 明子

井上井上家文書研究部会 1月度活動報告 №965「御用留」pp.1-58
のうちpp.33-39の6件の廻状と紙片1葉(受領証) 白神 正光

古代史研究グループ 1月の活動報告 農業の古代史—百姓と自然と
の闘い テキスト『日本農業史』(木村茂光著 吉川弘文館、2016年)、

ほか年表
資料紹介(2) 「湖北音頭」と作曲家吉田正

報告者・池田隆信

◆佐倉の地名 佐倉地名研究会会報

〒285-0843佐倉市中志津6-21-13 田中征志方 TEL043-489-7439

年2000円 2012年創刊

◇28 2024.1 A4 14p

《創立35周年記念 特集》

活動状況の一部紹介 西田市長ご来場(志津公民館祭・当会展示場)、
八千代地区散策(飯綱権現にて)、「古い大蛇を歩く」(散策会、麻賀
多神社)、発行図書例(地誌『多輪免喜一〜七号』)

35周年を迎えて

田中 征志

35周年回顧

伊藤代々子

忘れ得ぬひと

野村 忠男

地名研思い出のラブソディ(2) 学校開放地名講座 志津

宮武 孝吉

学校開放地名講座 臼井の巻

編集局

「佐倉」の語源を考える

小川 眞資

臼井地名の由来について

伊藤 清

志津の地名について(17)

田中 征志

「別所」地名を探る

山部 紘

真の志津城はどこ? 下志津の報恩寺を訪ねて

田中征志/河内政幸

東京都

◆足立史談 足立区教育委員会足立史談編集局

〒120-0001足立区大谷田5-20-1 足立区郷土博物館内 TEL03-3620-9393

◇646 2021.12 A4 4p

あだち民具図典(12) 実用新案登された木製洗濯機

荻原ちとせ

歴史を記憶する花畑の蛇橋伝説

間所 瑛史

花畑運河の開削竣工記念絵葉書三枚

荻原ちとせ

◇647 2022.1 A4 4p

アメリカへと派遣された谷文晁の孫 二世谷文一の肖像写真

小林 優

一對の庚申塔—西門寺・西光寺所在の庚申塔

関口 崇史

◇648 2022.2 A4 4p

あだち民具図典特集(1) 江戸時代の日常美〜和鏡

間所 瑛史

足立の民具図典(13) 銭井

荻原ちとせ

はい、文化財係です。(34) 千住花又瀬崎辺之図

佐藤 貴浩

◆足立史談会だより

〒120-0001足立区大谷田5-20-1 足立区郷土博物館内 TEL03-3620-9393

◇405 2021.12 A4 4p

鷗外研究第一人者が語る 明治を拓いた文豪森鷗外と千住

山崎一穎先生

(唐沢)

民主主義を見直そう 戦後の新教育指針(文部省資料昭和21.5.1)(17)

編・堀川和夫

令和三年度一茶まつり 全国小中学生俳句大会

千寿七福神めぐり 七福神／七福神の歴史

◇406 2022.1 A4 8p

史談会の活動再出発の年に

堀川 和夫

民主主義を見直そう 戦後の新教育指針(文部省資料昭和21.5.1)(18)

編・堀川和夫

千寿七福神を終えて 仲町氷川神社 弁財天(福禄)／河原町稻荷神社

福禄壽(開運)／八幡神社 毘沙門天(感光成就)／千住神社 恵比寿

天(願かけ)／元宿神社 恵比寿(ほけ封じ)／大川町五丁目氷川神社

布袋尊(来福)／本氷川神社 大黒天(招福)

(唐沢)

注連飾りとリース造り・扇小 体験学習

吉岡 諭

伝承文化財の継承に学ぶ 「獅子舞考」唐沢勝敏著

◇407 2022.2 A4 8p

民主主義を見直そう 戦後の新教育指針(文部省資料昭和21.5.1)(19)

編・堀川和夫

訃報 佐々木一彦先生を偲ぶ

堀川 和夫

「区のお知らせ 春は桜の中川堤」(上記の「区お知らせ」は昭和39年

4月1日発行安藤先生当時広報係時代の記事です。)

中川堤の桜・顛末

(矢沢)

伝承文化財の継承に学ぶ 「獅子舞考」2 唐沢勝敏著

◆あるむぜお 府中市郷土の森博物館

〒183-0026府中市南町6-32 TEL042-368-7921 1987年創刊

<http://www.fuchu-cpf.or.jp/museum/>

◇138 2021.12 A4 8p

表紙 復元建物、郷土の森に建つ(3) 旧河内家住宅

復元建物、郷土の森に建つ(3) 旧河内家住宅

佐藤 智敬

最近の発掘調査 府中最大級の河原石積み横穴式石室 西府町一丁目

	西野 善勝
NOTE 東京オリンピック・レガシーを求めて	佐藤 智敬
府中の史料に見る江戸時代の流行病(7)	
コロナ除けのまじないと祈願	花木 知子
園内植物探訪(2) 冬の常緑樹讃歌	中村 武史
太陽系惑星ツアー(3) 未来の地球は理想的?	塚田小扶里

◆奥武蔵 奥武蔵研究会

〒175-0092板橋区赤塚7-18-7 <https://www.okumusashi.club>

◇443 2022.1 B5 22p

時代を超えて	小泉 重光
私の登山記録帳(3) 謎の長沢背稜物語	成川 茂雄
ふた昔前のハイキング大会	町田 尚夫
「想いでの中」の藤本さん」シリーズを終えて	町田 尚夫
21年度・各賞受賞者の発表	
河田賞 21年度河田賞	小泉重光/加藤恒彦/成川茂雄/関口洋介
山行賞 21年度山行賞	河野 尚久

◆儀礼文化ニュース 儀礼文化学会

〒160-0012新宿区南元町13-7 TEL03-3355-4188

◇224 2021.12 A4 8p

催事スケッチ 三重県桑名市 伊勢大神楽増田神社総舞	
艶やかなる獅子が舞う歳末	写真と文・久保田裕道
レポート 儀礼文化セミナー(令和3年度第1回)	
フラワーデザイン「クリスマスー聖夜にまつわる花文化」	菅原小夜子
儀礼文化を語る 明治宮廷料理から現在の西洋料理について(前篇)	青柳 義幸
特集 シリーズ・儀礼文化のいま 第四回「華道のいまー古流松藤会」	
お話・古流松藤会六世家元 池田理英氏	
聞き手・久保田裕道/写真提供・古流松藤会	
レポート 儀礼文化講座(令和3年度第4回)	
神道「神社とマチ文化ー秩父神社の場合」	蘭田 稔
明治神宮宝物殿 開館百年の展示	栗田恵津子
ミュージアム探訪 企画展「疫病と民間信仰」 寒川神社(神奈川県)	
儀礼文化アーカイブ 第五回地方大会 出雲の古代文化を探る	松崎 睦彦
書棚 山本ひろ子・松尾恆一・福田晃編著『神楽の中世 宗教芸能の	

◆史叢 日本大学史学会

〒156-8550世田谷区桜上水3-25-40 日本大学文理学部史学研究室内
TEL03-3329-1151

◇104 2021.12 A5 108p

《東洋史特集号》

◆城郭史研究 日本城郭史学会（発売：東京堂出版）

〒174-8691板橋区板橋北郵便局私書箱50号 TEL03-3967-1948 年6000円
1968年創刊

◇40 2021.12 B5 158p 2700円

豊臣秀吉の小田原攻めと「穴太」

一石垣山城と甲府城での石垣普請にかかわって

中村 博司

「イシクラ」再考一石垣の古語と語源について

向井 一雄

松前藩戸切地陣屋の再評価ー日本初の稜堡式星型城郭について

時田太一郎

近世水戸城の防御に関する一考察ー御三家の支配拠点

井上 裕司

調査報告

北海道浦河町におけるチャシ跡の踏査について

一オバケ川左岸で確認した岩場のチャシを中心として

田代 雄介

白石城測量記

吉井 宏

碎玉類題 山内上杉氏に関わる大石氏と武蔵北部の城

風間 酉夫

城郭史関係文献目録

阿部 和彦

平成30年度日本城郭史学会 活動報告

大橋 健一

◆城郭だより 日本城郭史学会会報

〒174-8691板橋区板橋北郵便局私書箱50号 TEL03-3967-1948
年6000円 1993年創刊

◇116 2022.1 A4 6p

福山城入川の湊石垣が出土

秋の探訪旅行紀行 戦国・近世の伊達氏の城

阿部 和彦

最近の城郭ニュースから 岐阜城跡 整備基本計画が発表／丸岡城

内堀外側の石垣確認／浜松城 二の丸御殿礎石発見／柏木城、三戸

城国史跡指定が答申

最近の注目される城郭図書から 伊藤一美著『新知見！武士の都 鎌

倉の謎を解く』、飯村均・室野秀文編『続・東北の名城を歩く 北

東北編』、深見雅海著『江戸城御殿の構造と儀礼の研究 空間に示される権威と秩序』、長尾隆幸著『山内一豊・忠義』
城の遺構と復元図を掲載『国指定史跡 新宮城』

◆杉並郷土史会史報

〒167-0022杉並区下井草3-12-9 新村康敏方 1973年創刊

<http://www.sugi-chiiki.com/rekishikai/>

◇291 2022.1 A4 8p 400円

井口の祖を三浦半島に尋ねる一井口俊夫氏に何う

聞き手・波 巖

◆鈴木平九郎「公私日記」研究 公私日記研究会

〒190-0002 東京都立川市幸町2-2-1-4-503 松村武夫方 TEL042-535-2949

2017年再刊

◇2 2021.11 B5 127p

幕末期名主家の系図作成と由緒～武蔵国多摩郡柴崎村を事例に

中谷 正克

『公私日記』後の柴崎村(1)―「次郎兵衛・平九郎体制」の落日

吉村 健司

コラム 『公私日記』に垣間見る江川太郎左衛門英龍

吉村 健司

庄司亮さんと鈴木平九郎『公私日記』

松村 武夫

『公私日記』の中の気象情報―天保八年～同十三年

庄司 亮

改訂版 『鈴木兵九郎 公私日記 第一巻』正誤表

(天保八年及び同九年分)

公私日記研究会

◆西郊民俗 西郊民俗談話会

〒112-0005文京区水道2-3-15-403 小池淳一方 年2000円 1957年創刊

<http://seikouminzoku.sakura.ne.jp>

◇257 2021.12 B5 31p

疫病除けの呪符「籊籊乙」考

―中国怪異文学を典拠した習俗の広まり

榎 美香

茨城県行方市麻生の大麻神社例大祭―稚児が首座の祭り

近江 礼子

「昼寝」の民俗―群馬県の事例から

井田 安雄

◆世田谷区誌研究会会報

〒158-0094世田谷区玉川3-30-5 野岸敏雄方 年2000円

<https://setagaya-kushiken.jimdofree.com>

◇2022-1 2022.1 A4 8p

吉良氏家臣団

世田谷の民話(17)

縄の大蛇で村を救う／現在の民話のふるさと 奥沢神社 作者・桜井正信

世田谷の民話(18)

岡本の大六天森のすねこすりたぬき／現在の民話のふるさと 作者・桜井正信

岡本の大六天森(タタリの森)

◇2022-2 2022.2 A4 6p

品川区立品川歴史館企画展「品川用水」／「せたかい」に投稿された品川用水の寄稿文 せたかい45号「品川用水と周辺の生活 粕谷・廻沢周辺」下坂義夫氏、せたかい64号・65号「駒沢小学校と品川用水」秋山清太郎氏

世田谷の民話(19) 百姓五郎土俵で仁王立ち／現在の民話のふるさと

世田谷八幡の奉納相撲

作者・桜井正信

世田谷の民話(20) 三宿の多聞寺山のタヌキ／現在の民話のふるさと

勝国寺

作者・桜井正信

◆千住の鷗外保存会会報

〒120-0001足立区大谷田5-20-1 足立区郷土博物館内 TEL03-3620-9393

◇34 2021.12 A4 4p

森鷗外旧居 橋井堂森医院跡／千住で始まった文筆活動(明治十四年)

／千住から医師開業免状申請書を出す

御願書 森林太郎の医師開業免状申請書(足立史談七十九号)／千住

森林太郎初の投稿 読売新聞 1881(明治14)年9月17日朝刊1面

千住の鷗外文学碑誕生

◇35 2021.12 A4 4p

《千住の鷗外碑再設置記念》

千住の鷗外文学碑再設置記念の集い 講演「明治を拓いた文豪森鷗外

と千住」講師：森鷗外記念会前会長 山崎一穎先生

鷗外碑移設場所図

森鷗外と千住

平成四年「大正記念道碑」を整備した「考える会」のパンフレット

◆大道芸通信 日本大道芸・大道芸の会

〒157-0061世田谷区北烏山2-3-9-101 光田憲雄 TEL03-3307-2146

<http://daidogei.info>

◇361 2021.12 A4 2p 100円

『東都歳事記』に見る江戸の歳末

節季候／扇箱売り／獅子舞一行／引きずり餅

◇362 2022.1 A4 2p 100円

日本の大道芸の過去と未来

◆多摩地域史研究会会報

〒207-0033東大和市芋窪4-1735-1-103 梶原方 1991年創刊

<http://tamatiken.web.fc2.com>

◇147 2022.1 B5 8p

第29回大会報告 第29回大会『「邪馬台国」時代の多摩—3世紀の多摩で何が起こっていたのか』参加記

千葉まい子

第29回大会を終えて

梶原 勝

◆多摩のあゆみ たましん地域文化財団

〒186-8686国立市中1-9-52 TEL042-574-1360 年600円 1975年創刊

<https://www.tamashin.or.jp>

◇184 2021.11 A5 112p

《特集 江戸東京と多摩》

東京都公文書館の沿革と所蔵資料の紹介

瀧澤明日香

甲州道中宿々取締役と宿助郷争論—内藤新宿高松家文書のなかの多摩

工藤 航平

史料紹介 『多摩川上水襦書』について

高木 謙一

東京府文書にみる多摩の諸相

宮崎 翔一

東京都文書から多摩の記録を掘り起こす

—多摩ニュータウン開発事業を事例に

太田 亮吾

洋風建築への誘い(73) イギリスのコテージ・クレア 日野市

伊藤 龍也

建物雑想記(68) J K K東京(東京都住宅供給公社) B型住戸

酒井 哲

古文書は語る(60) 武州一揆鎮圧時の農兵記録

—古谷家文書「築地川原での一揆勢捕縛実書」より

馬場 憲一

多摩の金融史(18) 武陽銀行の設立—昭和初期の多摩の銀行再編

早川 大介

多摩の歴史を立体視!—赤色立体地図の風景(11)

武蔵野台地の新たな地形区分から何が分かるか?

遠藤邦彦／杉中佑輔

本の紹介

さいたま民俗文化研究所作成『布の一生一条から着物、そしてポロ

に 森田家のポロ(襦袢)資料調査報告書』

小峰 和子

「窪全亮と小俣勇」特別展示実行委員会編『窪全亮と奚疑塾・小俣

勇と和算塾～市民の研究発表～』

川原健太郎

◆東京産業遺産学会 NEWSLETTER

〒174-0046東京都板橋区蓮根2-29-10 新蓮根団地105 多田統一方 FAX03-3964-8548/
〒352-0011埼玉県新座市野火止4-8-43 柚須紘一方 FAX048-479-7490 年2000円 <http://tias3.web.fc2.com>

◇152 2022.1 A4 6p

わたらせ渓谷鐵道 イルミネーション

文・写真 長谷川景一

凸版印刷板橋事業所のレンガ塀

文・写真 長谷川景一

「弘前れんが倉庫美術館」にみる考古学の作品化 建築家・田根剛氏、

帝国ホテル建替えも

文・写真 奥原一三

文献紹介 『近代化遺産』の誕生と展開—新しい文化財保護のために』

伊東孝著

多田 統一

茨城県常陸太田市の赤煉瓦建築物(6) 「萩谷家煉瓦蔵」

文・写真 八木司郎

◆練馬郷土史研究会会報

〒179-0072練馬区光が丘5-2-3-806 鎌田茂男方 TEL03-3977-3091
年2000円 1956年創刊

◇383 2022.1 A4 4p

練馬城と「練馬城址公園」

八巻 孝夫

高札場 11月例会 江古田—小竹向原周辺の史跡巡り

熊野御師と豊島郡城の住郷の者たち(3)

伊藤 一美

昭和史雑感 昭和天皇と将軍達(34) 東条英機(7)

鎌田 茂男

◆練馬古文書研究会会報

〒178-0065練馬区西大泉3-15-14 寒河江耕作方 TEL03-3922-5487 1985年創刊
<http://www7b.biglobe.ne.jp/~tagame-y/>

◇66 2021.12 B5 4p

練馬の絵馬

高林 鮎太

浮世絵—摺りの体験を通して

西岡 興子

中村五名と名主

本橋 竹文

◆東日本部落解放研究所ニュース

〒111-0024台東区今戸2-8-5 TEL03-5603-1863 1986年創刊
<http://www.hblri.org>

◇101 2022.1 A4 6p

第34回研究・交流集会を開催／第34回研究・交流集会 プログラム

樋口先生の記念講演を聴いて	文責・斎藤洋一
永池隆さん報告を聞いて	文責・松浦利貞
長野の部落解放運動との現状と課題	文責・事務局 鳥山洋
第2回歴史部会報告	文責・事務局 鳥山洋

◆民衆史研究 民衆史研究会

〒162-8644新宿区戸山1-24-1 早稲田大学文学学術院 藤野裕子研究室研究室
気付 1962年創刊

◇102 2022.1 B5 80p 1750円

特集 民衆史研究の今までとこれから

特集にあたって 民衆史研究会委員会

環境史研究から生業の実態認識へ 高木 徳郎

近世日本の民衆史研究—民衆運動・政治思想・身分認識をめぐる議

論から属性論の射程を展望する 大橋 幸泰

描かれた近代日本社会成立期の都市民衆—西郷星錦絵の検討から 高橋 未来
書 評

菊池勇夫著『道南・北東北の生活風景—菅江真澄を「案内」として』

菅原 慶郎

尾脇秀和著『近世社会と壺人両名—身分・支配・秩序の特質と構造』

千葉真由美

西成田豊著『日本の近代化と民衆意識の変容—機械工の情念と行動』

佐々木 啓

金子龍司著『昭和戦時期の娯楽と検閲』

藤井なつみ

新刊紹介

虎尾達哉著『古代日本の官僚 天皇に仕えた怠惰な面々』

原田 華乃

古瀬奈津子・東海林亜矢子著『日記から読む撰閣政治』

高橋 宙暉

宮崎ふみ子編『京坂キリシタン一件と大塩平八郎』

濱島 実樹

飯田未希著『非国民な女たち 戦時下のパーマとモンペ』

櫻井 麻緒

◆民俗建築 日本民俗建築学会

〒162-0843新宿区市谷田町2-33 法政大学デザイン工学部建築学科内
TEL03-5228-1496 年9000円 <http://www.folkhouse.org>

◇160 2021.11 B5 78p

扉絵 バレミ集落南湖家屋、鉛筆デッサン、2021年5月1日

朴 賛弼

巻頭言 自宅の改修雑感

角 幸博

2020年度大会発表研究論文

材木商・旧永井家住宅(姫路市網干)	
その空間の特徴と変容に着目して	宇高 雄志
祭祀空間として機能する屋根裏と呪具	清水 智子
エチオピアのグラージェ族・ワライタ族・コンソ族・セマイ族の民家	佐藤 正彦
さいたま市の長屋門―伝統構法と形態を分析する	植木 秀視
韓屋の空間構成の特徴に関する研究	
―日本・中国の伝統民家との比較を通じて	朴 賛弼
民俗建築アーカイブ(21) 佐藤重夫と巖島民家「写真・図面集」	
(その3 吉田家、宮豊家倉庫)	河村 明植
One Shot Minka(28) 茅野の鉄平石屋根	長岡 正宏
2020年度一般社団法人日本民俗建築学会学会賞(竹内芳太郎賞 朴賛弼氏・佐藤重夫賞 佐志原圭子氏)	事務局
会員活動報告 民家の救済にご参加を	森 隆男
新刊紹介 『日本の観光2―昭和初期観光パンフレットに見る《近畿・東海・北陸編》』 谷沢明著	林 哲志
文献紹介 単行本・報告書・論文	

◆洋学史通信 洋学史学会

〒182-8585調布市調布ヶ丘1-5-1 電気通信大学大学院情報理工学研究科 佐藤賢一研究室気付 TEL0424-43-5592 <https://yogakushi.jp.org>

◇35 2021.12 A4 12p

新会長あいさつ 新会長として	八百 啓介
前会長あいさつ 洋学史学会会長退任にあたって	沓澤 宣賢
洋学史学会と私 洋学をつくった人々	八耳 俊文
2021年度 洋学史学会若手部会の活動予定(10月31日現在)	文責・堅田智子
自著紹介 藤本大士『医学とキリスト教―日本におけるアメリカ・プロテスタントの医療宣教』	藤本 大士
新刊紹介	
洋学史学会監修『洋学史研究事典』	青木 歳幸
松方冬子・西澤美穂子・田中葉子・松井洋子編、日蘭交渉史研究会	
訳『一九世紀のオランダ商館(上・下)』	橋本 真吾
塚本学『生き物と食べ物の歴史』	青木 歳幸
石田純郎編『世界の美しい病院―その歴史』	青木 歳幸

神奈川県

◆小田原史談 小田原史談会

〒250-0021小田原市早川160 青木良一方 TEL0465-22-8852

年3000円 1961年創刊 <http://odawara-shidan.hustle.ne.jp>

◇268 2022.1 A4 32p

謹賀新年

青木 良一

年頭のことば 「陽生天地春」 藤忠真書

講演録 小田原の道祖神と道祖神祭り(下)

講師・保坂 匠

鎌倉時代の小田原を巡る(3) 源頼朝拳兵之地 石橋山古戦場

野村 朋弘

「北条五代記」(7) 源義明公滅亡の事 付首実検の事／軍法昔にかは

る事／両上杉とたひらの氏茂戦ひの事

勝 四郎

日本画家・近藤弘明の芸術(4)

田代 勉

曾我物語を追っかける(4) 葦山・北条の里篇

諸星 幸雄

「片岡日記 大正編」掲載にあたって

星野 和子

片岡日記 大正編(1) 自大正十年一月至大正十一年十二月

片岡永左衛門

◆かまくら女性史の会 Newsletter

〒248-0012鎌倉市御成町18-10 N P Oセンター鎌倉気付 メールボックス26

2013年創刊 <https://kanagawajoseishi.jimdofree.com>

◇91 2022.2A4 2p

女性宣教師タマシン・アレンが残したもの

一働く楽しさと生きる喜び

曾原 糸子

シリーズ：私たちの「戦争体験」(15) 第2話「疎開地 新潟へ」

曾原 糸子

ファンタステック☆ライブラリー110開催

◆県央史談 県央史談会

〒243-0033厚木市温水342 内藤佳康方 TEL046-247-1751 1961年創刊

◇61 2022.1 A5 44p

半原の山に焼夷弾が投下された

千葉 弘

本厚木駅周辺基盤整備の歴史

橋川 明

中新田村武助忠敬一行の身延山参詣の旅

細川 光成

令和元年度事業報告 総会・史跡めぐり

◆コロス 常民文化研究会

〒254-0016平塚市東八幡2-8-20 西海賢二方 年1000円 1979年創刊

◇168 2022.2 B5 6p

石鏡山麓の信仰生活—小松藩会所日記をめぐって
地域の文化をどうつくるか—ものを求めず心を求めたい

西海 賢二
西海 賢二

◆市史通信 横浜市史編集室

〒220-0032横浜市西区老松町1 横浜市中央図書館地下1階 TEL045-251-3260

2008年創刊 <https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/yokohamashi/gaiyo/shishioryo/>

◇42 2021.11 A4 12p

横浜の二宮金次郎像(2) 金 耿昊
市民の娯楽場映画館 羽田 博昭
昭和二〇年代初期の史蹟めぐり 百瀬 敏夫
横浜国際婦人会(Yokohama International Women's Club) 上田 由美
閲覧資料紹介
横浜カオスの中に文化をさぐる—横浜市民特性の基礎調査 金 耿昊

◆日本の石仏 日本石仏協会(発売:青娥書房)

〒254-0031平塚市天沼7-59-305 TEL0466-24-0203 年8000円

1977年創刊 <http://sekibutukyokai.jp>

◇175 2021.12 A5 64p 2000円

表紙 長尾山金光坊の請雨妙見大菩薩 岡山県勝田郡勝央町植月

写真と文・福原教雄

特集 三十三観音

東北・北海道の石仏三十三観音 石仏三十三観音調査班
西国三十三箇所写し霊場の石仏調査 広瀬 茂
富山市小糸宗徳寺一石三十三観音と文殊菩薩 平井 一雄
千葉県大多喜の三十三観音 三明 弘
三十三観音と信仰の形 下平 武
本邦石造物研究の歴史(3) 大正末から昭和初期の研究者 嘉津山 清
石彫の現場から 浄名寺型五劫思惟阿弥陀如来坐像
—愛知県西尾市浄土宗阿弥陀山浄名寺 長岡 和慶
石仏論考 丸石道祖神ノート(5)—丸石信仰の展開(3)
屋敷神の丸石 岡田 均
誌上講座 石仏入門(29)「日本石仏図典」補足・Ⅲ 門間 勇
会員の広場
春日断層崖・桃尾の滝と石仏(奈良県天理市) 伊藤 義文
香林寺の三十三観音(川崎市麻生区) 清水 亨桐

フォト・石仏アラカルト

母子地藏(文化3年) 岡山県鏡野町の人形仙峠

福原 教雄

◆扣之帳 扣之帳刊行会

〒250-0021小田原市早川60 青木良一方 TEL0465-22-8852 年2500円

2003年創刊 <http://hikaenochou.world.coocan.jp/mysite1>

◇74 2022.1 A5 160p 500円

小田原市風祭萬松院の二基の石造五輪塔をめぐる

一大澤正秀墓塔と松平信康供養塔と	田代 道彌
松田の武士 松田氏を知るには(3)	遠藤 孝徳
小田原・文学の小箱(4)―私のコレクションから 大木篤夫の詩二編	杉山 博久
酒匂だより 「侘しさは風のせい？」	町田紀美子
金次郎と弥太郎による日光仕法	尾上 武
続々・ボクの映画館(3) 奇想天外なSFファンタジー 猿の惑星	平倉 正
おふくろとの思い出	下田 勝也
甲斐塚の謎(捜私漂白)	小濠 眞宝
諸々の思い出(4)	田中 豊
小田原・伊豆を歩いた民俗学徒 木村博の足跡(上)	青木 良一
小説一幕末銀板写真倶楽部 ポトゲラヒ(7)	荒河 純
一升石(4)	芳賀喜久雄
夜叉姫	茂木 光春

◆民具マンスリー 神奈川大学日本常民文化研究所

〒221-0802横浜市神奈川区六角橋3-27-1 TEL045-481-5661 年3500円

1968年創刊

◇645 (54-9) 2021.12 A5 24p 350円

台湾の原住民族アミに受け継がれる神棚	岡田紅理子
近代琵琶湖の豎箏 前編	渡部 圭一
書籍紹介 鷹取ゆう著『ただいま取藏品整理中!―学芸員さんの細かいすぎる日常』	三浦 宣敬

◇646 (54-10) 2022.1 A5 24p 350円

昭和30年代 木を割る技術と民具―富山県南砺市刀利・立野脇として	加藤 享子
アチック・ミュージアムの民具コレクション 連載再開にあたって	飯田 卓
アチック・ミュージアムの民具コレクション(39)	
樋畑雪湖の妻楊枝コレクション(6)	木村 裕樹

民具短信

戦時下におけるけ泥棒除けの松川達磨
麦殿大明神は語る一疫病との共生

渡邊 直登
八木つきの

◆歴研よこはま 横浜歴史研究会

〒232-0022横浜市南区高根町2-8-12-1001 木村高久方 1984年創刊

<http://www.yokoreki.com>

◇83 2021.11 B5 70p

特集テーマ「わが故郷の偉人」

中国・南京の三大偉人
川崎のナシ、モモ栽培の恩人
師走に三平を想う
讀良に馬がやってきた！—古代河内の馬牧と馬匹生産
古代びとの犯罪被害(1)
古代蝦夷とその暮らし
歴シル鎌倉室町400「76」「83」
幕末の薩摩藩～体調不良男と維新クーデターという疾患
大伯皇女一帰路の嘆き
『もうひとつの古代史』逸文(3)「藤原鎌足＝東国出自」論
古歌を訪ねて(13)一心づくしの秋 古歌に見る秋
鹿苑寺
蘇我本宗家 八佾(やつら)の舞いは滅びの舞い
閑かなる古寺の誘惑—大和路を歩む
我家の愛犬達の小史
八月の追憶
天守が動いた
神奈川県道40号線「通称・厚木街道」の歴史
徳川吉宗—暴れん坊ではなく陰謀將軍
はじめにコトバありきか(2)—色葉匂へど(6)
ゲンさんの歴史幻想
表紙の写真 横浜本牧三溪園の聴秋閣

長田 格
近藤 政次
榎 良生
小林 道子
松尾 光
木村 高久
高尾 隆
真野 信治
遠田千代吉
忌部 守
丹下 重明
市川 康夫
高野 賢彦
藤盛 詔子
加藤 導男
瀬谷俊二郎
長谷川憲司
西沢 昭
真野 信治
宮下 元
撮影・文 高島治

新潟県

◆新潟史学 新潟史学会

〒950-2102新潟市西区五十嵐二の町8050 新潟大学人文学部史学研究室内

TEL025-262-6289 1968年創刊

◇82 2021.12 A5 52p 1000円

北海道産物の流通統制から見た新潟通商司の経緯 青柳 正俊
新発田藩の検地と草高 佐藤 賢次
新潟大学旭町学術資料展示館企画展「甦る山古志の民具」について 中村 元
第70回新潟史学会研究大会・総会記事
2020年度卒業論文・修士論文題目

◆ふるまち良寛てまり庵通信

〒951-8063新潟市中央区古町通2-538 TEL025-378-2202

<http://www.kokodo.co.jp/ryokankai/temarian/>

◇31 2022.1 A4 6p

良寛百態 高橋郁丸・画
付録 良寛遺墨シート 七言絶句「裙子短兮編衫 長 騰々兀々只
塵過 陌上兒童 忽見我 拍手齊 唱放毬歌」
言霊 令気常盈内 外邪何漫受（三島町〈長岡市〉の庄屋・山田七彦
あて書簡より）
一期一会 新潟良寛会

◆良寛だより 全国良寛会会報

〒951-8112新潟市中央区南浜通2 北方文化博物館新潟分館内

TEL025-222-2262 1978年創刊

◇175 2022.1 A4 16p

「好物」（堅山南風・画） かたやま・なんぷう（明治20年～昭和55年）（出
雲崎町良寛記念館蔵）

リレーエッセイ 良寛つれづれ(24) 良寛の書 野中 吟雪
良寛遺墨鑑賞(23) 入軽み六右衛門宛書簡 小島 正芳
「各地良寛会だより」(16) 東京良寛会の巻 東條 玉英
良寛堂建立100周年記念 第44回全国良寛会出雲崎大会予告／良寛堂
建立に尽力した耐雪翁、安田鞆彦 「出雲崎を心ゆくまで堪能して
ください」

良寛さんが生まれた出雲崎から(上) 渡邊 モト
貞心尼没後一五〇年を忍び ブロンズ像の建立と遺構整備 安達 武男
相馬御風の良寛(24) “若書き”のこと 金子善八郎
良寛を今に伝えた人びと(5) 證聴 本間 明
忘れ得ぬ人びと(6) 鎌倉芳太郎先生 加藤 儼一

- 良寛 病の詩歌 素描 吉田 福恵
- 良寛ミステリー 手まりは本当に弾んだのか
秋田県の大内中学校生が科学的に考察
トピックス 文責・吉井清一
- 良寛、貞心尼の遺墨を鑑賞しながら良寛手まり茶会を開催
長岡良寛の会 安達 武男
- 第一回全国短歌募集 テーマ「良寛・椿、もしくは自由」
- 新刊紹介 『いのちの言の葉』 弟子丸博道著、『玉島の良寛漢詩三十五
選』 森石武士・中藤秀三著、『続 良寛遺墨集—その名筆とゆかり
の人々』 全二巻 小島正芳著 柳本 雄司
- 会報紹介 良寛さま第105号(岡山県良寛会)、貞心尼(没後150年記
念) 鮮明なカラー映像と、語り座公演による「はちすば通りの想
い出」 新潟県文化祭・参加作品 柳本 雄司
- 良寛を訪ねて(24) 乙子神社(下) 「ムラ人に慕われ」 吉井 清一

富 山 県

◆富山史壇 越中史談会

〒930-0115富山市茶屋町33-2 富山県公文書館内 TEL076-434-4050
1954年創刊 <https://shidankai.web.fc2.com>

◇196 2021.12 A5 72p 1300円

- 射水郡塚原保の佐伯氏祖先考—立山信仰史上の国衙在庁官人系家系 久保 尚文
越中禅宗寺院の法系再編—法燈派と聖一派 松山 充宏
- 明治四十二年の相撲取り吉野山による博徒殺人事件
—明治後期の社会問題「博徒」の一端について 浦田 正吉
- 新刊書紹介 保科齋彦著『加賀藩の十村と十村分役—越中を中心に』 米原 寛
最近の地方史情報 高森 邦男

◆北陸石仏の会会報

〒939-1315砺波市太田1770 尾田武雄方 TEL0763-32-2772
年3000円 1993年創刊 <http://odatakeo.wp.xdomain.jp>

◇65 2021.12 A4 8p

- 津幡町の六地藏 滝本やすし
上大久保天満宮の立石 平井 一雄
石工中田梅岸 尾田 武雄
第61回例会報告(高岡市伏木の石仏めぐり) 清水邦彦/佐野幸子

山 梨 県

◆地域と社会 佐藤弘

〒402-0005都留市四日市場902-3 2017年創刊

◇10 2021.12 B5 29p

1910年代の郡内織物業—北都留郡広里村を中心に
俳優・土屋嘉男の戦争体験と朝鮮人戦時動員

佐藤 弘

—学徒勤労働員・地震・朝鮮人青年との出会い

鮎澤 譲

長 野 県

◆飯田市歴研ニュース 飯田市歴史研究所

〒395-0803飯田市鼎下山538 TEL0265-53-4670

<https://www.city.iida.lg.jp/soshiki/39/>

◇116 2022.2 A4 4p

史料紹介 明治期における遠山での赤痢流行

太田 仙一

報告 ワークショップ「下伊那の宗教文化ネットワーク—松下千代と

松尾多勢子を中心に—」を開催しました

羽田 真也

リレーミニエッセイ(23) 現代のすずさんへ～出会いへのおさそい 上河内陽子

地域史講座「南信濃の木材利用を考える—王子製紙以降の山里」講

師：樋口貴彦 報告：太田仙一・須永次郎 コメント：金井溪一郎

／「明治の地図史料を読む—旧川路村役場文書と歴史 GIS の試み」

講師：福村任生

◆伊 那 伊那史学会

〒395-0081飯田市宮ノ上4048 TEL0265-22-6017 年5500円

◇1124 (70-1) 2022.1 A5 50p 550円

《民俗特集》

口絵 大山田神社の「鎮西八郎為朝」絵馬

近藤 大知

「大山田神社八幡宮八郎明神祭礼之図絵馬」に描かれた祭礼と芸能(上)

櫻井 弘人

お万さま伝説と神送り—セキノカタをめぐって

今井 啓

新野の雪祭りにおける「夜供れ」奉納

金田 昭徳

土雛のぬくもり

宮下 澄子

◇1125 (70-2) 2022.2 A5 50p 550円

口絵 伊那史学会が文部科学大臣表彰

原田 望

「大山田神社八幡宮八郎明神祭礼之図絵馬」に描かれた祭礼と芸能(下)

- | | |
|---------------------------------|-------|
| | 櫻井 弘人 |
| 今田の里の人形浄瑠璃芝居一育て支えた今田の里と人々(1) | 大原千和喜 |
| 地球温暖化について考えるー地球規模から、そして飯伊地方からみて | |
| | 竹村 元志 |
| 遠山氏の出自と歴史に関する一考察 | 佐藤 光志 |

◆伊那路 上伊那郷土研究会

〒399-4501伊那市西箕輪3180 山口通之方 年6000円

◇779 (65-12) 2021.12 A5 40p 600円

- | | |
|---------------------------------|----------|
| 長衛小屋をめぐる歴史 | 白鳥 孝 |
| 首無し・首折れ石仏考ー廃仏毀釈説への疑問 | 伊藤 和也 |
| 伊那市通り町一丁目 正藤酒店物語(2)ー最後の銅板張り看板建築 | 小平 和夫 |
| 「数え歌」について | 山本 勝 |
| 文化短信 小野のシダレグリ自生地の保存管理 | 福島 永 |
| 古文書の窓(163) 夢見の記録(2) | 小池 悟志 |
| 図説・上伊那の民俗(54) 猫神(飯島町飯島豊岡) | 三石 稔 |
| 徒然さんば(29) 晩秋の東駒ヶ岳 伊那市長谷 | 絵と文・吉田勝美 |

『伊那路』第65巻総目次 令和3(2021)年

◇780 (66-1) 2022.1 A5 40p 600円

上伊那にきた農耕勤務隊(1)ー戦争末期の朝鮮半島出身の「日本兵」

- | | |
|-----------------------------|----------|
| | 原英章／唐木達雄 |
| 放浪の石工 藤森吉弥の石仏を探し求めてー秩父編(2) | 有賀 利武 |
| 安政国役御普請(6) | |
| ー御目論見・御見分中および御丁張・御仕立て中の諸入用 | 春日賢太郎 |
| 中央アルプス地名考(9) 宝剣岳 | 吉田 保晴 |
| 古文書の窓(164) 村で相果てた旅の乞食に関する届け | 小口 恵子 |
| 図説・上伊那の民俗(55) 民俗を学ぶ(伊那市) | 三石 稔 |
| 徒然さんば(30) 諏訪神社 飯島町石曾根 | 絵と文・吉田勝美 |

◇781 (66-2) 2022.2 A5 40p 600円

高遠藩上伊那郷「諏訪御柱大引廻し記録」

- | | |
|-------------------------------|-------|
| ー上社御柱は高遠領からの人足100人によって曳き建てられた | 三浦 孝美 |
| 入営・出征兵士への饒別と除隊兵士への御祝儀 | |
| ー上伊那宮田村北割耕地の一事例 | 伊藤 修 |
| 青嶋村(現伊那市美篋青島)の江戸期の稲作 | 橋爪 剛健 |
| 第3回伊那 VALLAEY 映画祭に参加して | |

一二つのテーマ「三六災害」「陸軍伊那飛行場」を中心に 伊藤 一幸
 文化短信 『長野県史』 編纂・公文書等の保管活用を求める 請願を県
 議会が採択 山口 通之
 古文書の窓(166) 無宿人を差し置いた件で一札 下平すみ子
 図説・上伊那の民俗(56) 神願様(伊那市羽広仲仙寺) 三石 稔
 徒然さんば(31) 飯田線中田切川橋梁 飯島町・駒ヶ根市 絵と文・吉田勝美

◆伊那民俗 柳田国男記念伊那民俗学研究所

〒395-0034飯田市追手町2-655 飯田市美術博物館内 TEL0265-22-8118

年3000円 1990年創刊 <https://inaminkenhome.blogspot.com>

◇127 2021.12 B5 8p

表紙 キゴザを着た男性/旧制飯田中学校生徒の登山装束 片桐みどり
 阿南町和合地区へ定住して

一この20年で変わったものと変わらないもの 吉田 弓
 報 告

第4回伊那民俗研究集会『御柱祭と諏訪信仰』 岡庭 圭祐

第4回伊那民俗研究集会 アンケート結果 松上 清志

9・11月通常例会 発表要旨 9月例会 米山梓会員「長野県にお
 ける厄落とし習俗」、11月例会 福田董会員「長野県における盆
 の儀礼食一オヤキ・饅頭・天ぶら饅頭」 今井 啓

民俗調査特別部会 変化が進む上郷飯沼地区を探訪しました 今井 啓
 表紙写真説明 学校集団登山の装束 片桐みどり

◆信濃 信濃史学会

〒399-0036松本市村井町南1-28-35 年10200円 TEL0263-58-1213

<http://www.shinano-shigakukai.jp>

◇863 (73-12) 2021.12 A5 106p 1150円

《地域特集 佐久郡》

近世佐久の芸能 尾崎 行也

文化期石和陣屋の佐久支配と鉱山 山崎 哲人

小諸藩における種痘の実施—嘉永・安政期の小諸本町問屋日記より 市川 包雄

小山田藤四郎と立神氏—佐久郡大宮家文書より 村石 正行

南佐久の縄文遺跡 個人的な回想とともに 藤森 英二

佐久市東一本柳古墳出土の金銅製馬具について 富沢 一明

発掘調査成果からみる小諸城跡の歴史 高橋 陽一

佐久の地に根差して五〇年、佐久考古学会の取り組み 櫻井 秀雄

報 告

令和3年5月民俗例会 千曲川の漁労習俗見学

多田井幸視

令和3年5月民俗例会 「千曲川の漁労習俗」参加記

太田 典孝

『信濃』第73巻総目次 自第73巻第1号至第12号 自令和3年(2021)1月
至令和3年(2021)12月

◇864 (74-1) 2022.1 A5 202p 2000円

《特集 『信濃』創刊以来一〇〇〇号記念(上)》

巻頭言 会誌『信濃』創刊以来一〇〇〇号を迎えて
忘却された埴科教育会・永野豊三郎と「古墳研究調査会」

小松 芳郎

一宮坂光次を仰いだ大正年間の調査を探る

三上 徹也

信濃国の成立一発掘された煮炊具のちがいを取り上げて

原 明芳

室町期における信濃大井氏の政治的動向一永享〜寛正年間を中心に

花岡 康隆

一千石旗本領の終焉一信州筑摩郡諏訪萬吉郎百瀬知行所の場合

青木 教司

筑摩県政と初期自由民権家窪田畔夫にみる民衆の近代化構想

一地方官会議傍聴人・愛知県教育会議員としての活動

上條 宏之

長野県畜産業と戦時における変容の具体像

一更級郡信田村畜産の事例をとおして

田中 薫

長野県中南信の蚕神碑の分布について

福澤 昭司

飯田城下町図の成立と引継

伊坪 達郎

1970年代の長野県における文書館設置への模索

福島 正樹

随想 教育会所蔵史料と教育会館の活用

伊藤 純郎



*1932年1月の創刊で90年の歴史を刻み、1000号を迎えた信濃史学会誌『信濃』が、当号と次号で記念特集を組む。

小松芳郎会長の巻頭言によれば、『信濃』は大きく3期に分かれる。第一次は、信濃郷土研究会によって1932年1月に『郷土研究 信濃』として創刊され、1938

年7月(7巻7号)まで。第二次は、1942年10月に信濃史学会の機関誌『郷土研究 信濃』(戦後、『総合学術文化雑誌 信濃』、さらに、『郷土学術文化雑誌 信濃』)として刊行が始まり、1947年3月まで。第三次は、1949年5月に再刊されて今日まで続いている。いずれも月刊である。

第二次時代の会則には、信濃に関する史的研究を行うとともに、一般郷土史研究の普及を図り、地方文化の昂揚に資すると謳われたという。長野県地方史研究の中核団体として、高い理想を掲げ、土地に根差しながら、広い視野で研究活動を続け、長野県における地方史研究をリードし、多くの研究者を育ててきた。同会が果たしている功績は誠に大きい。

小松氏は同会と『信濃』の今後について、「地方史に関する総合的研究を進め、あわせて全国各地の研究者および研究団体との連携を図り、わが国歴史研究の振興に寄与することを目的とする信濃史学会は、この目的を達成するために、これからも会誌『信濃』の月刊発行を堅持していきたい。」と記している。

長野県内には、他にも月刊や隔月刊など定期刊行を維持する郷土史研究雑誌が何誌もあり、中でも伊那史学会の『伊那』は1100号を越え、上伊那郷土研究会の『伊那路』も800号に達しようとしている。刺激し合える環境は素晴らしいことだと思う。小松氏が述べるように更に連携を図り、互いに発展していった欲しい。

◆千曲ふるさとに学ぶ 東信史学会

〒386-0024上田市大手2-7-13 上小教育会館内 TEL0268-24-2182

年3000円 1974年創刊

◇176 2022.2 A5 63p

小県郡・上田領の寺社領—真田氏時代を中心にその変遷をたどる 寺島 隆史
追分宿伝来の天和元年裁許裏書絵図およびそれに至る争論(1)

—絵図の特徴

江川 良武

長野種馬所への秘匿飛行場建設

上原 美次

郷土史随想 お帰りになった村の象徴「雷神」祠

村山 隆

窓 案山子とその由来

横沢 瑛

連載講座 古文書解読講座 第167回

市川 包雄

扉写真と解説 屋代遺跡群水田遺構出土農耕祭祀遺物群

平林 大樹

◆長野県民俗の会通信

〒384-2104佐久市甲135 田澤直人方 TEL0267-88-6927 年5000円

<http://nagano-minzoku.chu.jp>

◇287 2022.1 B5 12p

忘れ去られた女鳥羽の滝

市東 真一

第227回例会参加記

田澤 直人

葉書でつぶやくコーナー わさび田—安曇野に来て見て驚いた(5)

倉石 忠彦

令和3年度総会概要報告

田澤 直人

静岡県

◆静岡県近代史研究会会報

〒422-8526静岡市駿河区谷田52-1 静岡県立大学国際関係学部 森山優研究室
年4000円 <https://shizuokakenkindaishi.wordpress.com>

◇520 2022.1 A4 4p

1月例会レジュメ

拙著『渋沢栄一と静岡—改革の軌跡をたどる』を刊行して
東海道を歩く—静岡の川端康成

岡村 龍男

田中 慶子

◇521 2022.2 A4 4p

2月例会について ラウンドテーブル・生煮え研究会：今後の静近研・
共同研究の在り方について—提案—高校の新カリキュラムを受けて
話題提供：村瀬隆彦氏・井口裕紀氏

2月定例会レジュメ 高校での「歴史総合」実施と関連して

—原口基金の使い方についての提案
芥川龍之介と戦争(続)

村瀬 隆彦

小池 善之

◆静岡県地域史研究会会報

〒412-0043御殿場市新橋1891-1 厚地淳司気付 年4000円 2011年創刊

◇240 2022.1 B5 4p

鷺津村の小笠原佐渡守

小林輝久彦

10月例会報告要旨 「駿河の中世郷村と地下文書—史料学による中世
在地社会論の試み」

廣田 浩治

11月例会報告要旨 「桜野合戦(薩埵山合戦)についての考察」

山田 剛徳

◆静岡県民俗学会会報

〒424-0053静岡市清水区洪川1-9-35 <http://web.thn.jp/s-folklore/>

◇182 2022.1 A4 6p

漆掻き技術 その2 「殺し掻き」

多々良典秀

令和3年度 第1回例会報告

(川口記)

大嶋善孝会長ご逝去のお知らせ

松田香代子

シリーズ食(45) 橙酢のなます

外立ますみ

静岡の民俗語彙・方言短信

サバリッコ

報告者・川口円子

ヒバエル

報告者・外立ますみ

ヘサれる

報告者・外立ますみ

◆静岡歴研会報 静岡県歴史研究会

〒422-8045静岡市駿河区西島363-55 篠原旭方 TEL054-286-8659

◇161 2022.1 B5 8p

第131回研究会 福島、大川、太田各氏発表 中村典夫氏の「[おおよまと、古市・百舌鳥古墳を訪ねて]～大王陵墓の謎～について」の概要／大川誠一氏の「[令和の大嘗祭の秘密] について」の概要／太田晴道氏の「[キリスト教伝来と仏教の対応] について」の概要

愛知県

◆あつた 熱田神宮宮庁

〒456-8585名古屋市熱田区神宮1-1-1 TEL052-671-4151

<http://www.atsutajingu.or.jp>

◇272 2022.1 A5 48p

年頭のご挨拶

千秋 季頼

御大典奉祝記念事業 「剣の宝庫 草薙館」開館

創祀千九百年記念造営事業の回顧(29)

小久保雅広

「剣の宝庫 草薙館」の開館に向けて(5)

福井 款彦

「剣の宝庫 草薙館」の体験コーナーについて

岡地雄太郎

南門クスノキの異常落葉の診断と対策(1)

原野 幹義

◆蓬左 名古屋市蓬左文庫

〒461-0023名古屋市東区徳川町1001 TEL052-935-2173 1980年創刊

<http://housa.city.nagoya.jp>

◇102 2021.12 A4 8p

令和三年度蓬左文庫講演会 青松葉事件

羽賀 祥二

尾張の筆まめの日記伝(第二回) 鸚鵡籠中記と千代倉日記(中)

井上 善博

表紙 古棧類纂 2冊 江戸初期写 33.8cm×27.0cm

加藤 千沙

◆まつり通信 まつり同好会

〒458-0006名古屋市緑区細口3-161 田中青樹方 TEL052-877-3497 年5000円

1961年創刊 <http://www.wa.commufa.jp/matsuri/>

◇617 (62-1) 2022.1 B5 8p 600円

表紙写真のことば 大磯の左義長 神奈川県大磯町大磯

1月第2土曜日

坂本 要

新型コロナウイルスと民俗芸能

一朝倉の梯子獅子の奉納中止と、新たな語りの創造

牧野 由佳

「民間念仏信仰の研究」の構想(7) 8 まとめ 日本的念仏と民俗

坂本 要

滋 賀 県

◆湖国と文化 びわ湖芸術文化財団

〒520-0806大津市打出浜15-1 TEL077-523-7146 年2520円 1977年創刊

<https://www.biwako-arts.or.jp>

◇178 (46-1) 2022.1 B5 88p 600円

《特集 芭蕉と近江―「俳聖」の誕生》

プロローグ

芭蕉翁絵詞伝

抄出・意訳 横谷賢一郎

蝶夢、「俳聖」を創った男

横谷賢一郎

近江愛し、滞在8回 「軽み」理解し支えた門人

いかいゆり子

芭蕉が詠んだ近江

いかいゆり子

芭蕉のふたつの旅 近江の句、定住者の視線

篠原 徹

交流1年、俳・画に結実 「六芸の人」許六

高木 文恵

勇士と呼ばれた膳所藩士

寺田 智次

歴史文化遺産ガイドと歩く芭蕉の大津 幻住庵／義仲寺／堅田・浮御

堂～居初氏庭園

三宅 貴江

インタビュー 湖と生きる 絹弦で日本の音を守り、世界と響き合う

邦楽器糸製造「丸三ハシモト」4代目 橋本英崇さん

聞き手・三宅貴江／写真・中村憲一

ぶらり近江はっけん伝(19) 近江八景

岸野 洋

近江の懐(19)

黒山 黒山集落と石仏群、地藏二尊磨崖仏

加藤 賢治

黒山の馬

石川 亮

万葉の旅人(11) 後れ居て恋ひつつあらずは追ひ及かむ道の阿廻に標

結へわが背(巻二-115 但馬皇女) 皇女と皇女、兄と妹 禁断の

恋

文と曲・林博通／画・鈴木靖将

近江の黎明 相谷熊原遺跡から探る縄文の世界(4)

性器表現なし。土偶用途に再考迫る 松室 孝樹
 カラーグラビア
 湖国の匂・香・酒・間 冬のお題 原木シイタケ
文・三宅貴江／写真・野寺夕子
 祭の美 祈りのかたち(12) 浜の小石と黄金の稲穂 村神主を介し
 巡る恵み(大晦日祭の「年の実」 長浜市西浅井町菅浦) 写真・文 川島朱実
 書、美心(まごころ)。(20) 「志」高く 書と文・秀蓮
 琵琶湖センス・オブ・ワンダー 湖と人とが織りなす歴史と今(4)
 湖底に眠る琵琶湖の記憶 文・林竜馬／写真・オザキマサキ
 森が来た道(10) 森林・林業の担い手の変遷と人材育成 水田有夏志
 歴史の玉手箱(22) 明治の村絵図 官費か自費か。河川改修巡る攻防
 の資料 江戸期以来の村の姿、全県にわたって残る 大月 英雄
 トムさんの日野暮らし(6) 近江商人と仏教経済学
 共存重視の倫理観、地球を救う鍵に トム・ヴィンセント
 北から南から
 春の祭り、秋の菊花。日牟禮八幡宮へどうぞ 野口将太郎
 草津あおばなが生み出すブルーの輪 大塚佐緒里
 自伐林業。「生きる」につながる暮らしの風景 長澤由香里
 市街地に隣接した自然の森、長等公園 小松谷千絵

◆戦国史と人 女風林火山 戦国史と人を学ぶ会／武田勝頼・松姫探究会

〒520-0528大津市和辻高城289-11 首藤義之方 年1400円 1987年創刊

◇68 2022.1 B5 80p

《特集1 武田信玄生誕500年記念・

特集2 続・佐々木六角氏と信長・秀吉・家康(中)》

謎の仏師康清(宮内卿法印)と織田信長・武田信玄・北條氏邦

一正親町天皇と古溪宗陳の信長木座像制作仏師を巡る相論の真相 首藤 義之
 佐々木六角氏の歴史定説を覆す郷土史料集『安土町史 史料編』を読

む一郷土史家・田中政三氏の新説の典拠となった史料を収録 首藤 義之
 『江源武鑑』所収の書状類写(全26点)は偽文書ではない(1) 首藤 義之

京 都 府

◆京都民俗 京都民俗学談話会

〒603-8301京都市北区紫野北花ノ坊町96 仏教大学歴史学部 八木透研究室気
 付 Tel075-491-2141 年4000円 1984年創刊

◇39 2021.11 A5 157p

芳井敬郎先生御影

追悼 芳井敬郎先生を偲んで

芳井敬郎先生と京都民俗学会

八木 透

京都民俗学会へ向けて

芳井 敬郎

芳井敬郎先生略歴

芳井敬郎先生著作目録

都市公園とその周辺における職業集団による動物保護の実践

—天然記念物「奈良のシカ」の保護活動を事例に

東城 義則

京都の祭礼における神輿昇き集団若中に関する考察

中西 仁

『婚姻の話』は名著か—柳田國男の婚姻史研究の予見性について

武笠 俊一

高知県におけるノツゴと野神の関係について

—『長宗我部地検帳』と『南路志』による再検討

八木 牧人

仏壇の消滅する民俗学的論理

—これもヴァナキュラー、いち民俗学徒の回想記

岸田 史生

民俗断章—幼少期の記憶から

植木 行宣

書 評

河原典史著『カナダにおける日本人水産移民の歴史地理学研究』

増崎 勝敏

由谷裕哉編『神社合祀 再考』

黛 友明

新刊紹介

清水拓野著『中国伝統芸能の俳優教育』—陝西省演劇学校のエスノ

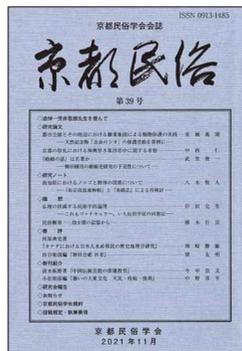
グラフィ

今中 崇文

小松和彦編『禍いの大衆文化 天災・疫病・怪異』

中野 洋平

研究会報告 2020年12月～2021年11月



*2021年3月に75歳で亡くなられた京都民俗学会会長で、花園大学名誉教授の芳

井敬郎氏を追悼する。

同氏は1947年9月に大阪市で生まれ、奈良県立民俗博物館主事・学芸員、花園大学文学部史学科教授、同大学副学長、日本風俗史学会理事、日本染織文化協会会長、神戸市文化財保護審議会委員などを歴任した。

現事務局長の八木透氏によれば、1981年10月、芳井氏から、まだ大学院博士後期課程の学生だった八木氏に、京都を拠点とした民俗学に関する情報交換や研究発表を行うための組織を立ち上げたいとの協力要請があったという。芳井氏の奔走で、翌82年7月に発起人会、10月には京都民俗学談話会(2005年に京都民俗学会に改称)発会式兼第1回研究大会にこぎつけた。初代会長は柴田實氏で、発起人には上田正昭氏、梅村忠夫氏、五來重氏、林屋辰三郎氏らそうそうたるメンバーが名を連ね、芳井氏は実際に会を取り仕切る事務局長に就いた。まだ30歳代前半であった。

自身は、フィールドワーカーを自認し、『織物技術民俗誌』(染織と生活社、1991)、『民俗文化複合体論』(思文閣、2005。2006年日本民俗史学会第24回江馬賞受賞)などの著書や、多くの論考を残した。

京都民俗学会での最後の活動は、亡くなる3ヶ月前の2000年12月12日に開催された第39回年次研究大会に寄せたビデオメッセージである。その中に、大変に意味深長な下りがあるので引用する。「人間洞察力は民俗学にはぜひ必要なことであります。あの偉大な民俗学の先駆者が残した自伝、膨大な記事、評論についても同様で、彼の持つプラベートの非公開性、エリート意識等を考慮して読む必要があるのではないのでしょうか。」

ご冥福をお祈りする次第である。

◆芸能史研究 芸能史研究会

〒602-0855京都市上京区河原町荒神口下ル上生洲町221 キトウビル303 TEL075-251-2371 年6000円 1963年創刊 <http://www5b.biglobe.ne.jp/~geinoshi/>

◇235 2021.10 B5 74p 1800円

特集「公家社会の芸能と文化」趣旨説明	岡 佳子
『看聞日記』の居住環境と室礼一会所をめぐる交流を中心に	井戸 美里
三条西実隆の古筆鑑定をめぐって	五島 邦治
『平田職直日記』にみる十七世紀後半の公家の茶の湯	岡 佳子
十八世紀の宮中演能—『禁裏仙洞御能日記』を中心に	中嶋 謙昌
紹介	

人間文化研究機構 国立歴史民俗博物館編『性差の日本史』 (佳)

植木行宣監修 福原敏男・西岡陽子・橋本章・村上忠喜編『山・鉾

・屋台の祭り研究事典』 (往還亭主)

竹中縁『大和の細男の成り立ちの関するノート』	(K/Y)
例会発表要旨	
異本系『常盤問答』と『常盤物語』 2021年5月例会	糸 汐里
京都府蔵「鴨川納涼図屏風」に見る鴨川原空間の遊興世界	
2021年7月例会	西山 剛
『浮世見聞集』に見る大坂芸能の一側面	
一芝居の入りと見世物の様相を中心に 2021年8月例会	中川 桂

◆史迹と美術 史迹美術同致会

〒606-8048京都市上京区下立売通小川東入西大路町146 中西ビル内
Tel.075-462-4292 年8000円 1930年創刊 <https://www.shibikai1930.com>

◇920 (91-10) 2021.12 A5 28p 918円

日本庭園・石造美術あれこれ(8) セメント芸術への道(上)	尼崎 博正
狛坂磨崖仏について(2)	山根 祥司
九州の石塔調査報告 5. 筒野大日真言自然石塔婆二基	佐藤 誠
第91輯(911~920号)総合目録	

◇921 (92-1) 2022.1 A5 34p 918円

日本庭園・石造美術あれこれ(8) セメント芸術への道(下)	尼崎 博正
宇治興聖寺の庭園空間と管理指図に関する研究(6)	
—『興聖寺作木并掃除覚帳』の分析から	尾崎 洋之
高野山奥之院出土嘉暦元年五輪塔銘文の拓影について	
—銘にある荘園名は但馬国大内荘について	木下 浩良
口絵写真解説 滋賀県高島市の石造美術	田中 康夫

◆都藝泥布 京都地名研究会通信

〒610-1126京都市西京区大原野上里男鹿町14-5 入江成治方 FAX075-331-3431
年3000円 2002年創刊 <https://kyotochimei.wixsite.com/kyotochimie/>

◇75 2021.12 A4 8p

第56回地名フォーラム

研究発表1「平安京周辺の野とその地名—桓武天皇の遊獵の場」	
岩田貢(本会理事)	岩田 貢
研究発表2「巨椋神社と惟喬親王伝承」小寺慶昭(本会会長)	小寺 慶昭
第57回地名フォーラム開催案内 研究発表「格助詞に着目した地名の要素分類」初宿成彦氏(大阪市立自然史博物館)、講演「近代京都の都市づくりと地名」上野裕氏(佛教大学非常勤講師)	
本の紹介 片山一道著『骨が語る日本の歴史』(2)	小寺 慶昭

大阪府

◆泉佐野の歴史と今を知る会会報

〒596-0845岸和田市阿間河滝1425 井田寿邦方 TEL0724-28-0204

年1200円 <http://www.eonet.ne.jp/~sanonokai/>

◇408 2021.12 B5 12p

史料紹介 山本家文書 明治中期の佐野の事業者

井田 寿邦

聞書・佐野の頼母子講・銀行

北山 理

現代語訳「食家と佐野と海」(16)

二山 和美

史料紹介 泉州の地誌(11)

藤田家文書「郷中村々高家数竈数人数寺社数帳」(11)

◇409 2022.1 B5 12p

「和泉國泉郡内畑村繪圖」を読む(6)

一水利環境を中心に 其の六「井堰」の昔今

池田 雅治

土地台帳にみる土地利用(13) 下瓦屋

井田 寿邦

現代語訳「食家と佐野と海」(17)

二山 和美

史料紹介 泉州の地誌(12)

藤田家文書「郷中村々高家数竈数人数寺社数帳」(12)

◆大阪歴史懇談会会報

〒536-0008大阪市城東区関目2-3-2 アンティークショップ一兵内 TEL06-6931-

1081 年5000円 1984年創刊 <http://osakarekikon.cocolog-nifty.com>

◇445 (38-11) 2021.11 B5 8p

巻頭言 神のおやしろのこと(67) 豊国神社

和久 敦也

令和3年10月例会報告(第407回)

『日本人の黒人観』一前回の報告の続き 本会会長 片倉穰氏 (報告・和久)
会員の書評 『昔話法廷』(NHK Eテレ「昔話法廷」制作班・編

今井雅子・原作 イマセン・法律監修 金の星社)

評者・井川光正

ブック・インフォメーション 特集・歴史図書案内 『尼子氏の城郭

と合戦』(図説日本の城郭シリーズ10) 寺井毅 戎光洋出版、『尼

子物語』(戦国ロマン広瀬町シリーズ(3)) 妹尾豊三郎(編纂) ハ

ーベスト出版、『出雲尼子氏一族』(読み直す日本史) 米原正義

吉川弘文館、『月山富田城尼子物語』(尼子ハンドブック) 藤岡大

拙 ハーベスト出版、『山陰・山陽の戦国史』(地域から見た戦国

150年・7) 渡邊大門 ミネルヴァ書房

◇446 (38-12) 2021.12 B5 8p

巻頭言 神のおやしらのこと(68) 豊国神社(屋敷神) 和久 敦也
令和3年11月例会報告(第408回)

『古文書を読む』—御奉公請状之事 本会理事 中澤祐一氏 (報告・井川)

令和3年度 秋の見学会 11月13日 『世界遺産 古市の古墳をめ

ぐる』 案内人：見学部会 和久敦也氏・白須一信氏 (報告・和久)

ブック・インフォメーション 特集・歴史図書案内 『日本二十六聖
人殉教記』(聖母文庫) ルイス・フロイス(著) 結城了悟(訳) 聖
母の騎士社、『二十六聖人と長崎物語』(聖母文庫) 結城了悟 聖
母の騎士社、『殉教とろびを越えて』 粕谷甲一 女子パウロ会、
『潜伏キリシタンは何を信じていたのか』 宮崎賢太郎 KADOKA
WA

◆近畿文化 近畿文化会

〒543-0001大阪市天王寺区上本町6-5-13 上本町YUFURA 7階

TEL06-6775-3686 年2200円 <http://www.kintetsu-g-hd.co.jp/culture/bunka/>

◇866 2022.1 A4 8p 300円

上町台地東辺の史跡と旧村をめぐる 来村多加史

古代の山陰・山陽道と男山丘陵 泉森 皎

◇867 2022.2 A4 8p 300円

“もののけ”たちの夜行する京 池田 淳

奈良町の浄土宗寺院 服部 光真

◆左海民俗 堺民俗会

〒593-8302堺市西区北条町2丁10-11 佐原浩二方 TEL072-275-8588 年3000円

<https://ameblo.jp/skmz2014>

◇168 2022.1 B5 8p

堺の町のなりたち(2) 石津 川村 淳二

1929年世界恐慌・昭和恐慌における地域差(2) 森井 淳吉

野崎観音、室池、飯盛山方面探訪 下谷 佐吉

ほんこさんと仕出し屋 川村 淳二

10月例会報告 聖徳太子ゆかりの里・もう一つの太子道 下谷 佐吉

11月例会報告 紅葉が燃える箕面大滝と周辺散策 担当・西井清和(佐原浩二)

堺民俗会からのお知らせ／訃報 川村淳二氏

◆城だより 日本古城友の会

〒577-0044大阪市西成区玉出中2-11-28 平川大輔方 Tel.06-6652-4511

<http://www.kojyo-tomonokai.com>

◇636 2021.12 B5 30p

日本古城友の会 総会と西区史跡めぐり(1月・第699回例会)／新宮
城のガイドブックが制作されました

11月第697回例会の報告

丹波周山城を訪ねて 担当幹事：下岡力・高菅純子 報告・下岡 力
岐阜県 小里城跡を訪ねて 坂本 昇
三重県 鬼ヶ城跡を訪ねて 坂本 昇
別冊(B4 7頁) 第698回例会 近江 宇佐山城・大津城を訪ねる
案内講師：滋賀県立大学名誉教授 中井均先生 担当幹事：森田又
一・中西徹

◇637 2022.1 B5 22p

日本古城友の会 令和3年度の例会(概要報告)

12月・第698回例会の報告 近江宇佐山城・大津城を訪ねて

担当幹事：中西徹・森田又一 報告・森田又一
相談役辞退を依頼 田村 紘一
岡山県 備中境目七城の宮路山城跡を訪ねて 坂本 昇
岡山県 備中境目七城の冠山城跡を訪ねて 坂本 昇
別冊(B4 5頁) 第699回例会 西区史跡めぐり 案内：藤岡秀典

◆つどい 豊中歴史同好会

〒560-0054豊中市桜の町4-6-27-208 小川滋方 月1000円

1988年創刊 <http://toyoreki.way-nifty.com>

◇404 2021.12 B5 14p

山陰の弥生墓制について—四隅突出型墳丘墓の誕生と展開 仁木 聡
史跡探訪 箕面の古墳(新稲古墳) 古高 邦子

◇405 2022.1 B5 20p

謹んで新年のご挨拶を申し上げます 表紙：平城宮第一次大極殿 小川 滋
隋唐時代の都城の概念の変化が日本の都に及ぼした影響について 豊田 裕章
平城宮と佐紀古墳群東群を訪ねる 古高 邦子
半島史料・資料から古墳時代を考える(1) 柳本 照男

◆ヒストリア 大阪歴史学会

〒657-8501神戸市灘区六甲台町1-1 神戸大学大学院人文学研究科

古市晃研究室気付 1951年創刊 <http://www.historia-osaka.on.arena.ne.jp>

◇289 2021.12 A5 207p 1800円

2021年度大会特集号 部会報告

考古

弥生時代中期後半における池上曾根遺跡の集落内部構造について

上田 裕人

唐古・鍵遺跡の構造

柴田 将幹

ミニシンポジウムの記録

司会・伊藤淳史氏

古代 公卿稲制度の展開と国司

増成 一倫

中世

鎌倉幕府御家人制と守護

勅使河原拓也

東寺五方の構造と寺院財政

青木 貴史

近世 近世中後期における陣屋元在郷町と譜代藩政の動向

一古河藩土井氏領の摂津国平野郷町を事例に

松本 充弘

近代

戦後日本における教員社会の展開と地域社会運動

一京都府丹後地域の青年教員の動向を中心に

富山 仁貴

地域社会運動史研究における課題—富山報告へのコメント

鬼嶋 淳

報告 二〇二一年度宮内庁書陵部との懇談

企画委員会

委員会報告 第1回／第2回

吉武 直哉

◆歴史考古学 歴史考古学研究会

〒580-0042松原市松ヶ丘2-12-16 奥村隆彦方 TEL072-331-6679

年3000円 1978年創刊

◇80 2021.11 B5 104p

寝屋川市長栄寺出土の梵字礫石経

松永修輔・寝屋川市教育委員会

奈良県中之庄町経ヶ塚経塚出土の六十六部納経経請取状

一史料の翻刻と本事例を踏まえた二つの問題提起(補足)

鳥谷 芳雄

日本に渡来した菊花散梵字鏡

小林 和美

韓国梵字資料調査(2013・2014年調査)(下)

東アジア梵字文化研究会

口絵 寝屋川市長栄寺の梵字礫石経／韓国通度寺の丹青

兵 庫 県

◆史料ネット NEWS LETTER 歴史資料ネットワーク

〒657-8501神戸市灘区六甲台町1-1 神戸大学文学部内 TEL078-803-5565

年1000円 <http://siryo-net.jp>

◇96 2021.11 A4 12p

表紙 灰汁を使った汚損資料の洗浄の工程

巻頭言 資料整理活動にむけた雑感

栗原 正東

特集 汚損資料のアルカリ洗浄

長崎大水害固着の修理について

富川敦子／久保憲司

セスキ炭酸ソーダを用いた汚損資料の洗浄とその効果

—岡山史料ネットでの実践から

東野 将伸

Field Report 2020年熊本豪雨災害

令和2年7月豪雨による文化財の被災と文化財レスキュー事業

川路 祥隆

第7回全国史料ネット研修交流集会

第7回全国史料ネット研修交流集会に参加して

宇野 淳子

第7回全国集会・文化会1に参加して

戸部 愛菜

第7回全国集会・文化会2に参加して

仲田 侑加

第15回地域史卒論報告会

地域史卒論報告会に参加して

古谷 優周

地域史のすすめ

高橋 玄

2021年度総会を実施しました

歴史資料ネットワーク

◆西宮文化協会会報

〒662-0974西宮市社家町1-17 西宮神社内 TEL0798-33-0321

<http://nishinomiya-ebisu.com/bunkyo/>

◇645 2021.12 B5 8p

1月行事 西宮神社境内末社百太夫神社祭参列／堀内ゑびすコレクション
展覧学会

「灯り」の歴史

藤原 亮太

西宮の万葉風景だより(1) 万葉植物苑

岡本三千代

西宮浜脇のふるさとづくり～えびすかきから人形浄瑠璃へ

武地 秀実

10月行事 文化講演会「家紋って何？」 田中豊茂先生大いに語る

江崎健一郎

会員活動報告 『芸術文化活動』から『交通安全運動』へ

山本 純子

◇646 2022.1 B5 8p

2月行事 文化講演会「絵図で見る尼崎城」

尼崎市立歴史博物館主任学芸員 室谷公一氏

西宮の文化財を未来へつなぐ「西宮市文化財保存活用地域計画」につ
いて

東原 直明

浮世絵版画—西宮の風景あれこれ(1)

布広 良雄

11月行事 秋の見学会

西宮市大谷記念美術館&辰馬考古資料館探訪記 江寄健一郎
西宮の万葉風景だより(2) 公智神社 岡本三千代
会員活動報告 「富士山を詠む」俳句賞に全国入選(二名) 中村宏/山本純子
◇647 2022.2 B5 8p

3月行事 文化講演会「世界が見た街頭紙芝居展」と街頭紙芝居実演

講師：人形劇の図書館館長 湯見英明
人形劇の図書館コレクション展 第二弾「世界が見た街頭紙芝居展」湯見 英明
寺島紫明—西宮ゆかりの日本画家 森田 正樹
浮世絵版画—西宮の風景あれこれ(2) 布広 良雄

12月行事 文化講演会「江戸時代の西宮町人の生活と文化」西宮市立

郷土資料館衛藤彩子学芸員、大いに語る 江寄健一郎
会員活動報告 『祭礼木彫』&『沖恵美酒大神』ルーツ 中村宏/山本純子

◆歴史と神戸 神戸史学会

〒657-0845神戸市灘区岩屋中町3-1-4 田中印刷出版内 TEL078-871-0551
年3000円 1962年創刊
◇349 (60-6) 2021.12 A5 49p 600円
《特集 近代都市・神戸の楽しみと陰》
ハイキングの普及と六甲山 森地 一夫
近代日本最初のコレラ大流行で奮闘
兵庫県 の 検疫医・桑原高美の経歴と殉職 山本ゆかり
「みなとの祭」の創始に関する一考察 吉田 隼人
今里幾次さんの第三論文集を刊行 岸本 道昭
新聞地域版を読む 神戸新聞の文化財記事(2014年11月5日～11月8日)
大國正美/宥吉康德

奈良県

◆大美和 大神神社

〒633-8538桜井市三輪 TEL0744-42-6633 <http://www.oomiwa.or.jp>
◇142 2022.1 B5 72p
年頭ご挨拶 鈴木 寛治
邪馬台国と大倭国家 岡田 登
宝物収蔵庫開館五十年記念 日本の須恵器生産と三輪山山麓の須恵器
植野 浩三

宝物収蔵庫「和光館」開館五十年によせて

大直彌子神社社殿から見つかった乾漆仏(断片)の継続調査の意義 鈴木 喜博
大直彌子神社に伝来する乾漆仏像片の第二次調査 岡田 文男

和歌山県

◆熊野 紀南文化財研究会

〒646-0051田辺市稲成町392 高山寺 曾我部大剛方 TEL0739-22-0274
年3000円 1969年創刊

◇161 2021.11 A5 51p

白浜町の鉛山鉱山と温泉、鉱山廃水由来の重金属汚染問題について 阪本 敏行
アラビカ(狩場明神・稲荷神・千代定)の正体

—中世の熊野信仰の正体に関する仮説5 蓑 虫

江戸時代、新庄村塩田の様相(1) (17~18世紀) 藤井 寿一

郷土関係新刊紹介 熊楠研究第一五号／ごった煮のおもしろさ『熊野
山略記』／紀州藩今高制・上ヶ知制、上ヶ米制理論の研究／熊野水
軍小出家文書の総合的研究／山本氏関連城館群総合調査報告書—上
富田町龍松山城跡、坂本付城跡発掘調査報告書／磯間岩陰遺跡の研
究／熊野田辺政治資料 明治二十二年「議定」録／学校日誌が語る
昭和初期 日本はそして郷土は

◆熊野情報 熊野歴史研究会

〒647-8555新宮市春日1-1 新宮市役所商工観光課 山本殖生
TEL0735-23-3333 年3000円

◇224 2022.1 B5 2p

御燈祭は神事のみ／『熊野歴史研究』24号／情報をお寄せ下さい／随
想『窮鳥のこゑ』（谷口智行先生）／『熊野謎解きめぐり—大地がつ
くりだした聖地—』（後誠介先生）／『大坂城—秀吉から現代までの
50の秘話—』（北川央先生）

◆和歌山地方史研究 和歌山地方史研究会

〒649-6258岩出市山980-2-1312 江本英雄方 年3000円 1980年創刊
<http://wakayamachihoushi.blog.fc2.com>

◇82 2021.12 A5 76p

相賀荘と社皇神社 岩倉 哲夫

友ヶ島に遺る砲台監守衛舎 武内 雅人

和歌山県古座川流域・三栖家の線香原料製粉業と線香製造業

—明治・大正時代を中心に

藤井 弘章

太地の児玉家住宅に秘められた価値について

—太地における江戸時代捕鯨に関する唯一の建築遺構の可能性

山本 新平

動向 2021年度和歌山県内展覧会情報(追録)

彙報 和歌山地方史研究会の活動 第41回大会、公開シンポジウム

「地方史研究の最前線 紀州・和歌山」、第147回例会(紀伊考古学研究会・和歌山城郭調査研究会との共同研究会)

島根県

◆大社の史話 大社史話会

〒699-0751出雲市大社町杵築西2695-1 稲根克也方 TEL0853-53-4966

年2500円 1974年創刊

◇209 2022.1 B5 44p

出雲大社造営文書を読む(1)

岡 宏三

古代出雲は医薬の国

須田ひとみ

『島根の祭と民俗芸能』を発刊!

いづも財団(文責・梶谷光弘)

重要文化財旧大社駅本屋保存修理事業について 出雲市文化財課(文責・吾郷誠)

二八三年後の奇跡、鷺浦のセイショコさん

栗田 養逸

出雲地域の歴史と文化シリーズ(19) 「旅する庶民—古文書からたど

る江戸時代の旅—」

出雲市文化財課(文責・荒川英里)

中学生出雲弁川柳(令和三年度)

出雲市立大社中学校

ギャラリー展「弥生墳丘墓に供えられた食器」

出雲弥生の森博物館(文責・坂本豊治)

ギャラリー展「田儀櫻井家のたたら製鉄 その2 国指定史跡 越堂

たたら跡」

出雲弥生の森博物館(文責・浦上晴奈)

読者コーナー

ふるさとの歴史を楽しむ! 私流「歴史を楽しむ体験三話」

木村 進

不世出の俳人「原石鼎」

坂本 達夫

令和3(2021)年7月~9月 出雲市大社町年表

編集部

岡山県

◆宇喜多家史談会会報

〒700-0826岡山市北区磨屋町6-28 光珍寺内 TEL086-222-2028 年2000円

2002年創刊

◇81 2022.1 A4 10p

鳥取藩池田家に仕えた戦国時代の岡山武士の末裔たち—鳥取藩政資料

から見る宇喜多家旧臣の再就職

内池 英樹

悲運の武将・宇喜多秀家(4) 宇喜多家の家中騒動

内藤 勝輔

物語直家記伝 西大寺辺の城 第51回 転変(7)

山重十五郎

会員サロン 宇喜多氏関連遺跡の写真展(17) 宇喜多塚

矢部 隆正

◆岡山地方史研究 岡山地方史研究会

〒700-0013岡山市北区伊福町2-16-9 ノートルダム清心女子大学文学部

久野研究室気付・小野功裕 TEL086-252-2482 年1500円 1986年創刊

<http://historyokayama.s1009.xrea.com>

◇155 2021.12 B5 36p

塚村嘉伝太編著『剥復録』再考—桑名市立中央図書館本による追補 別府 信吾

合評会 今村直樹著『近世の地域行財政と明治維新』

今村直樹著『近世の地域行財政と明治維新』(吉川弘文館、2020年8

月、373頁)を読んで

定兼 学

書評 今村直樹『近世の地域行財政と明治維新』

東野 将伸

『近世の地域行財政と明治維新』の意図と課題—書評へのリプライ 今村 直樹

博物館・展覧会めぐり 兵庫県立歴史博物館特別企画展「唱歌！西洋

音楽がやって来た—明治の音楽と社会」を見て

覚野凜津子

参加者 「重要文化財 旧大國住宅」の見学会に参加して

渡世 理彩

読書日記 リチャーズ・J・エヴァンス『エリック・ホブズボーム

歴史の中の人生』

倉地 克直

◆岡山藩研究 岡山藩研究会

〒169-8051東京都新宿区西早稲田1-6-1 早稲田大学教育学部 大橋研究室気付

<http://okayamahanwaseda.seesaa.net/?1465280813/>

◇90 2022.1 B5 8p

〈第29回総会の記録〉

報告要旨

家斉期における徳川御三卿の役割—相馬大作事件を素材として

山本 英貴

参加記

山本英貴報告「家斉期における徳川御三卿の役割—相馬大作事件を

素材として」参加記

深谷 克己

山本英貴氏の報告を聞いて

大森 映子

◆岡山民俗 岡山民俗学会

〒700-0089岡山市北区津島本町16-5-3 小嶋博巳方 年4000円

1949年創刊 <http://okayamaminzokugakkai.web.fc2.com>

◇242 2021.12 B5 82p

高度経済成長期前半における岡山県のテレビ・洗濯機・冷蔵庫の普及
に係る基礎的考察

岩崎 竹彦

熊山神社春祭りの展開と祭祀組織—近世熊山における地藏権現の祭祀

平松 典晃

岡山市北区、表町の秋祭り

田中 豊

新庄村の民俗聞き書き—一村制・族制・産育・婚姻

小嶋博巳・編

備前市歴史民俗博物館特集展「驚愕の新発見！幻の件は実在した！？」

展示報告

山内 雄奨

◆きび野 岡山県郷土文化財団

〒700-0822岡山市北区表町1-7-15 702号 TEL086-233-2505

<http://www.o-bunka.or.jp>

◇164 2022.1 A5 14p

年頭にあたって

石井 清裕

随想 キハが行く、だからわたしも

小西 伸彦

岡山の人物 坪田譲治

山根 知子

岡山の自然 極楽寺のカヤ

仁木 康治

岡山の文化財 旧三石尋常高等小学校講堂

西目ひかり

わが町・わが村の自慢 きび美ミュージアム(倉敷市)

ふるさとの思い出 貴布祢神社算学(矢掛町)

西野 望

会員日より わたしたちのくらしを支える運輸業

佐々木 勇

広島県

◆わが町三原 みはら歴史と観光の会

〒723-0051三原市宮浦6-9-32 鈴木方 年3600円 FAX0848-63-9932

◇370 2022.1 B5 12p

今月の各地 新年の挨拶

上田 嘉信

昭和22年の天皇行幸(2)

西村 雅幸

日本の牛と馬、交通の歴史(19) 第3章 江戸時代を見る眼

三好 邦範

三原市のカワウ対策 第2報(前期)(9)—平成24年～平成29年の取組

行長 啓三

◇371 2022.2 B5 12p

今月の各地 農業政策待ったなし	山本 公恵
昭和22年の天皇行幸(3)	
昭和22年12月9日(火曜日) 中国新聞2面	西村 雅幸
昭和22年の天皇行幸 行幸関係の思い出	松田 治三
日本の牛と馬、交通の歴史(20)	
第3章 江戸時代を見る眼/第4章 騎行と車行の歴史	三好 邦範
三原市のカウウ対策 第2報(後期)(1)―平成30年～令和2年の取組	行長 啓三

徳島県

◆徳島県立博物館ニュース

〒770-8070徳島市八万町向寺山 徳島県文化の森総合公園 TEL088-668-3636
1990年創刊 <https://museum.bunmori.tokushima.jp>

◇125 2021.12 A4 8p

緑にかがやくざくろ石	中尾 賢一
Culture Club 絵師・矢野伊章栄光について	大橋 俊雄
自然史コレクション	
情報BOX コロナ禍と民俗・暮らしぶりの変化	磯本 宏紀
ここに遺跡があります―トンネル内に描かれた絵と板野町の弥生遺跡	植地 岳彦
レファレンスQ&A	
四国遍路はどうして「遍路」というのですか？	長谷川賢二

愛媛県

◆伊予史談 伊予史談会

〒790-0007松山市堀之内 愛媛県立図書館内 1915年創刊

◇404 2022.10 A5 49p 750円

民権権令 岩村高俊の再評価―岩村施政と「民権権令」を考える	大村 欣也
愛媛県におけるスペイン・インフルエンザの流行について(2)	
―「後流行」以後	永井 紀之
動向 自治体史誌の編纂について―地域史を記録する	柚山 俊夫
博物館へ行く 愛媛県歴史文化博物館 特別展「大名の船―海の参勤交代―」をみる	伊津見孝明
書評 磯川いづみ編『伊予河野氏文書集(1)／(2)』	山内 治朋
新刊紹介 昭文社編集部・ガリパードプロダクツ編『愛媛のトリセツ』、	

宇和島市立伊達博物館『武具の煌めき 武家の PRIDDE』、高知県立高知城歴史博物館『藩の消えた日—四国の廃藩置県』、愛媛県立歴史文化博物館『特別展 大名の船—海の参勤交代』

郷土その日その日 自令和3年6月至令和3年9月 編集部(柚山俊夫)

例会記事 第1268回 伊予の筆子塚—『伊予史談』「掃苔録」を通して
みた 川島佳弘氏、城ノブ～女性の紀幽齋に準じた社会事業家 富吉将平氏／第1269回 道後平野における地理的環境の復元～城西地区を中心として 三好裕之氏、愛媛における三輪田米評価・顕彰の趨勢 長井健氏

◆小松史談 小松史談会

〒799-1101西条市小松町新屋敷甲3007-1 西条市立小松温芳図書館
郷土資料室 TEL0898-72-5634

◇148 2022.1 A5 196p 500円

巻頭言 コロナ禍の中から 石丸 敏信

先人に学ぶ 石丸 敏信

特集 千足山と石鎚

千足山の妖怪 渡辺 裕二

石鎚の古道を歩く—丹原町影無から楠窪峠へ 一色龍太郎

石鎚山系の獣 熊 山本 貴仁

企画展「石鎚のくらしと記憶」 友澤 明

近世周布郡における神仏習合と分離の展開 森 正康

小松藩の御座船建造と参勤交代 井上 淳

道前平野の大河「宮之下川」について 武田 味生

御徒士目付 黒石又八の事件簿 石丸 敏信

小松陣屋の間取りと席次の考察 伊藤 敏昭

小松の祭り・中町屋台聞きかじり 菅 道隆

下絵と川人三郎のだんじり彫刻展示 自治会有志

大生院正法寺に残る天保の書簡を読む 大西 大寛

石根の歴史シリーズ(2)—100年前の年中行事 高橋 孝一

小松町及び周辺古墳(2) 格蔵山の歴史と古墳 雄智 敏雄

郷土資料室報告—新収蔵資料展・下絵と彫刻展 三宅 紗代

コラム

4コマ漫画(5)—小松の歴史 處 友 香

藩主墓所を守る会から 伊藤 敏昭

増川氏の訃報と小松藩会所日記 友澤 明

「小松藩譜」好評・その後の展開
令和三年度会務報告

編集子
史談会事務局

◇148別冊 2022.1 A5 80p

《新旧合本 小松史談・総目次》

はじめに

石丸 敏信

新旧合本 小松史談・総目次 第1号～第148号

小松史談への寄稿者及び寄稿回数(創刊号～第148号掲載分まで)



*小松史談会は1949年に71名の会員をもって設立され、今年で74年目を迎えた。90年代には会員減少で存続の危機に見舞われたが、現在は20歳代から90歳代まで340人余りを擁するまでになっている。着実な活動の成果である。

会誌は創立の年の9月に第1号を発行し、148号を数え、延べ236人が1500点余の論文・作品を寄せているとのことである。全巻が西条市立小松温芳図書館及び同館郷土資料室に収蔵され、公開されている。本冊はその総目次であり、活用が望まれる。

福岡県

◆季刊邪馬台国 梓書院

〒812-0044福岡市博多区千代3-2-1 TEL092-643-7075 年5400円 1979年創刊

◇141 2021.12 A5 194p 1350円

巻頭言 隔てる海、つなげる海和

編集部

〈総力特集 朝鮮考古学再考—古代の°日朝交流を解く〉

朝鮮半島の前方後円墳—文献の記載と考古学

安本 美典

朝鮮半島の前方後円墳

西谷 正

高句麗の王都・国内城の王陵と文字史料

濱田 耕策

安本美典賞 「安本美典賞」第一回受賞は関川尚功氏に／

「安本美典賞」設立!!

邪馬台国の会

私の邪馬台国論

邪馬壹国の呼び方

西村 敏昭

狗奴国国邑推定地「東方丘陵」

稲富 伸明

私の町の博物館(4)

日本で唯一の韓国・朝鮮の専門美術館「高麗美術館」

鄭 喜 斗

オトナ女子のコラム 晴れ、ときどき、古代史

藤江かおり

世界遺跡巡り(18) 北海道・北東北の縄文遺跡群

井上 修一

筑紫君磐井をたずねて(2) 磐井残党が蜂起した

綾杉 るな

自著を語る

『疫病・災害と超古代史』

原田 実

『古代女性天皇の社会』

富田 修

『『魏志倭人伝を解く』序章』

福永 晋三

神社仏閣、縁起めぐり(8) 三韓出兵ゆかりの神社 香椎宮

編集部

◆九州史学 九州史学研究会

〒819-0395福岡市西区元岡744 イースト一号館 九州大学文学部日本史学研
究室内 TEL092-802-5098 1956年創刊

https://www2.lit.kyushu-u.ac.jp/his_jap/kyushusigaku/

◇190 2022.1 B5 93p

大隅忌寸姓を持つ中央官人をめぐって

菊池 達也

永祿期足利義輝による伊東氏・島津氏間の和平調停

宮地 輝和

十六世紀後半の大名領国周縁における国人の動向

一豊前長野氏を事例に

佐藤 凌成

松本学と全村学校運動の展開

原口 大輔

佐賀県

◆末盧国 松浦史談会

〒847-0823唐津市旭が丘6-5 TEL0955-73-3549 年2000円 1962年創刊

◇228 2021.12 B5 20p

値賀神社の参道形狛犬

志佐 揮彦

三河吉田藩士沢木弥兵衛について

寺沢 光世

岸川善太郎関係資料について(3)

多々良友博

唐津・発掘・発見の話(16) 神集島の「古墳」の発見申告について

徳富 則久

「鉄」から紐解く唐津の歴史(2)

一中近世の「鉄」に関する現状と滑石製石鍋(1) 立石 総明

「諸岡文書」(九州大学所蔵) その9・その10

考古学における地方史研究の成果 五、時代の証(5) 火山噴出物(4)

田島 龍太

令和三年度 秋の市内探訪会報告 浜玉地区

神社仏閣、縁起めぐり(8) 三韓出兵ゆかりの神社 香椎宮 編集部

宮 崎 県

◆石の証言 「八紘一字」の塔を考える会

〒880-0026宮崎市波島2-30-2 佐藤文則方 年2000円 1995年創刊

<https://hakkouitiunotou.jimdo.com>

◇106 2022.1 A4 8p

石の証言 カナダ日本人会 ステップストーン 45×60cm (白と褐色のま
だらの石2つ)

「八紘一字」の塔を考える会 発足30周年記念講演会

考える発足30年にあたってのスピーチ

有原誠治さん・南邦和さん・村上直巳さん

講演後の意見交換会 杉尾宏さん・谷本敏之さん・福田鉄文さん・岩

切八郎さん・有原誠治さん・松田幸子さん

12.12記念講演会余話

会30周年記念講演から思う(1)

杉田 宏

次年度開講予定科目「宮崎の近代と戦争」に関して

関 周一

鹿 児 島 県

◆鹿児島民俗 鹿児島民俗学会

〒890-0056鹿児島市下荒田4-1-18 阿多利昭方 TEL099-253-1775 年4000円

1950年創刊

◇160 2021.12 B5 135p

表紙写真解説 高山町波見浦の水神祭り(2021年10月4日)

松原 武実

下甕島瀬々野浦におけるトシドシ私考

中村 史伝

遺品から見えてくる出水市荘の十五夜綱引きの歌

一何故「愛宕参り」ではなく「清水寺参り」であったのか

森田 清美

余談 朝鮮戦争と人工透析

名越 護

串木野官祭招魂社のこと	所崎 平
旧郡山町の葬式～聞き取り調査から	牧島 知子
七島衆はどのように船団を編成したのか	
一七島正月の由来と先祖船航行を通して	渡山 恵子
鹿児島民俗学会例会報告(1) 5月例会 薩摩の盲僧 常楽院の歴史	
(池田純)、鹿児島城下のムラ(松原武実)	編集部(松原記)
フカに助けられた話～恐怖心が報恩話に逆転か	名越 護
安政のコレラ騒動	名越 護
余談 人も飲み込む? 怪魚イトウ	名越 護
シマウタは「半学だ」	名越 護
鳥の民俗語彙(前篇)	橋口 満
余談 古本の処分法 ブックカフェへ寄贈	名越 護
異人来訪の点と線	松原 武実
鹿児島城下の太鼓踊(3) 小山田太鼓踊の由来	松原 武実
民俗アラカルト 郡山町(西俣)の「血だし」のこと	牧島 知子
資料 除証文写 川辺郷 自安永五年至天明六年	前床重治・編
鹿児島民俗学会例会報告(2) 6月例会 平成26年熊本地震と文化財	
～震災派遣の経験で感じたこと(西野元勝)、鳥の民俗語彙(橋口満)	
／7月例会 七島正月の伝承一七島衆と先祖船航行の語り(渡山恵子)、志布志市有明町高下谷のコウジンマツイ(川野和昭)	編集部(松原記)
奄美群島の島々と沖縄	
一兄弟島・親島、現在の人々の意識を探る視点	近藤 功行
みんぞく・かわらばん	
「黒糖地獄」偲ぶ節	名越 護
寛正の大飢饉	名越 護

沖 縄 県

◆宮古郷土研究会会報

〒906-0013平良市下里1223-8 下地和宏気付 TEL0980-72-9963

年3000円 1977年創刊 <https://kyodoshiken.ti-da.net>

◇248 2022.1 B5 8p

1月定例会レジメ 長墓遺跡のゲノム分析を考える	久貝 弥嗣
2月定例会レジメ 海の帝国琉球と宮古	久貝 弥嗣
11月定例会まとめ ミャーカについて	久貝 弥嗣
12月定例会を終えて 画像で探し求めた琉球政府時代	森谷 大介

宮古島東海岸の軽石漂着を受けて	久貝 春陽
久貝弥嗣さん 沖縄県文化協会賞奨励賞を受賞	下地 和宏
陶片と石と伝来の調合—11月定例会・久貝報告に寄せて	大西 威人
十四世紀後半から十五世紀前半の宮古	
—「与那覇ばら軍(いうさ)」に触れて	下地 和宏
敗戦後、歴史に学んで七五年 「新宮古建設の歌」を出発点に…	仲宗根將二

寄贈図書紹介

◆佐倉をもっと知ろう(上) 佐倉・内郷・根郷編 多輪免喜 8

佐倉地名研究会編・刊(〒285-0843 千葉県佐倉市中志津6-21-13 田中征志方
TEL043-489-7439) 2021年12月 B5 155頁

佐倉地名研究会の研究誌『多輪免喜』1～7号を3冊に再構成する創立35周年記念出版の第1冊として、第1号 佐倉編(1996年)と第2号 根郷編(2003年)を収録する。中巻は「臼井・志津編」を予定。表紙 名の説明／口絵 佐倉の秋祭り 江戸型山車・御神酒所(写真提供 佐倉市、佐倉商工会議所、佐倉秋祭り実行委員会)／市長あいさつ(西田三十五)／「翔」大谷照画／佐倉をもっと知ろう(多輪免喜 第八号)発刊にあたって(田中征志)／はじめに 佐倉を知ろう／I 佐倉地区 佐倉十三町(写真 佐倉を知ろう・佐倉十三町、新町、田町、弥勒町、本町、浦新町、海隣寺町、中尾余町、並木町、樹木町、藤沢町、宮小路町、最上町、野狐台町)、明治二十二年合併の町(写真 明治二十二年に合併の町、鍋山町、将門町、大蛇町、鐺木町)、昭和三十一年編入の地区(写真 昭和三十一年編入の地区、上代、高岡)、新しい町(写真 新しい町、城内町、栄町、千成、白銀、鐺木仲田町、鐺木一・二丁目)／II 内郷地区 昭和十二年合併の地区(写真 昭和十二年合併の地区、飯田、飯野、岩名、大佐倉、下根、土浮、萩山新田、山崎、飯野町、下根町、飯田台)、新しい町(写真 新しい町、宮前)、印旛沼と干拓地(大佐倉干拓、飯田干拓、萩山新田干拓、土浮干拓、飯野干拓、鹿島干拓)／III 根郷地区 昭和二十九年合併(写真 昭和二十九年合併、寺崎、六崎、石川、太田、写真 神門・馬渡、神門、城、木野子、小篠塚、大篠塚、馬渡)、新しい町(写真 表町・寺崎北、表町、大崎台、山王、藤治台、春路、寺崎北)、工業団地(写真 第一～第三工業団地、第一工業団地、第二工業団地、第三工業団地(大作))／佐倉の地名余話(「神門」地名を探る、「あらく」地名について、「ねごや」地名について、「びよ」「びょう」地名について)／コラム リスト／引用・参考文献／概略地図(佐倉地区図、内郷地区図、根郷地区図)

◆日本の歴史を描き直す—信越地域の歴史像 シリーズ地方史はおもしろい04

地方史研究協議会編 文学通信 (〒170-0002 東京都豊島区巢鴨1-35-6-201 TEL
03-5939-9027) 2021年9月 新書判 271頁 1500円+税

地域を考えるうえで重要な資・史料に焦点をあてて、学際的な面白さを広める地方史研究協議会の創立70周年記念新シリーズの第4冊。『日本の歴史を描き直す—信越地域の歴史像』の刊行にあたって(浅倉有子)／第1部 生活文化はいかにして境界を越えるのか 謙信の勝負メシー飯山の笹寿司伝承を追う(宮澤崇士)、幕府に献上された特産物・小布施栗(原田和彦)、国境を越える北信濃の蕎麦文化(笹本正治)、祭礼に曳き出される長野の屋台—その形態と分布(樋口明里)、地域と時代をまたぐ婚姻儀礼・チカムカエ(望月誠)／第2部 信越国境から見渡す宗教と信仰 仏教絵巻を解説する—善光寺式阿弥陀三尊絵像の手指のかたち(竹下多美)、二つの霊山と一人の僧—山岳信仰を護持した宝蔵院俊海(佐藤慎)、北国街道をゆく江戸時代の巡礼者たち—「二十四輩巡拝」ルートについて(渡部浩二)、神社合祀のたどりかた—妙高市のオンライン社神明細帳を読み解く(由谷裕哉)／第3部 信越地域から大地の歴史 信越地方の大地はいかに形成されたか—フォッサマグナと糸静線(竹之内耕)、信越国教地域はかつて海だった—長野にあったと考えられる海岸線の話(成田健)、古代のブランド品を生んだ大地と歴史—玉と斧の生産と流通(木島勉)／第4部 出土したモノたちはわれわれに何を語りかけるのか 地域史から列島史への寄与—柳沢遺跡の銅戈と銅鐸(柳生俊樹)、奥信濃の弥生王墓はいつ出現したか—根津遺跡と北陸系土器(室正一)、屋代木簡からみえる古代の役人の教養—『論語』はなぜ読まれたのか(二星潤)、まぼろしの古代寺院 兩宮廃寺—古瓦の向こうにみえる古代の信越(平林大樹)／第5部 近代化が信越地域にもたらしたもの 藩校日記から読み解く、幕末・信州松代の教育事情(野村駿介)、地域を豊かにした陶器とレンガ—赤塩窯と鉄道局御用煉化石製造所(小柳義男)、日本スキー発祥物語—越信スキー倶楽部誕生とその名称(荒川将)、世界の至宝「池尻川発電所」—発電と農業の共存をめざして(西山耕一)／第6部

記録史料をわれわれはどのように読み解くのか 川中島合戦を読み直す—永禄元年の争いの検討(前嶋敏)、近世人の国防思想—真田幸貫の海防と文書(山中さゆり)、震災の記録絵図—新史料が明らかにする宝暦元年高田地震(浅倉有子)、幕領への復帰を求めた農民—越後国上板倉郷と大崎郷の庄屋の記録から(清沢聰)、百姓たちの山争いと領主の戦略—信越国境山論(小酒井大悟)、藩主の不行跡を裏づけるには—史料の「クロスファイヤー」論(花岡公貴)／あとがき

◆修復整備工事完成記念 妙高山の美の原点 名勝旧関山宝蔵院庭園

妙高市教育委員会生涯学習課編・刊 (〒944-8686 新潟県妙高市栄町5-1 TEL
0255-74-0035) 2021年6月 A4 18頁

平成27年年度から令和3年度まで実施された妙高市の名勝旧関山宝蔵院庭園修復整備事業報告書。旧関山宝蔵院庭園の概要と事業の成果をまとめる。平成・令和

の修復整備事業を終えて(入村明)／名勝庭園整備の完成を祝して(花角英世)／名勝旧関山宝蔵院庭園—三つの“核心”を次世代へと伝える(本中眞)／庭園の修復整備事業を監修して(飛田範夫)／庭園の全貌 妙高山の美の原点 旧関山宝蔵院庭園／庭園の本来の姿を解明する(1) 古文書調査 宝蔵院日記を読み解く／庭園の本来の姿を解明する(2) 測量調査 現場の痕跡を検証する／庭園の本来の姿を解明する(3) 発掘調査 庭園や建物の遺構を発掘する／失われた庭園の景観を復元する(1) 崩れた石組などを修復する／失われた庭園の景観を復元する(2) 水の流れや植栽を復元する／失われた庭園の景観を復元する(3) 庭園の視点場を整備する／庭園の美 その意匠と構造(滝石組、南北斜面、園池、水路、植栽、寺坊跡、石段、視点場)／修復整備事業の経過

◆後記

以前当欄で、2010年に福岡県田川市と福岡県立大学が、山本作兵衛の炭鉞画を世界記憶遺産に共同推薦して登録されたことを記した。当初は旧三井田川鉞業所の豎坑槽などの建造物を近代化産業遺産群として世界文化遺産への登録を目指し、炭鉞画は関連資料に位置づけていた。だが、7歳で炭鉞労働者となり、亡くなるまで自らの体験を描き続けた記録画の価値が海外で高く評価されたことで、これを世界で共有すべき人類の財産として、記憶遺産に登録する道を選んだ。今、政府の佐渡金山世界文化遺産登録が、植民地時代に朝鮮人の強制労働が行われたとの韓国政府からの抗議を受け、一旦は推薦見合わせを決めながら、与党などからの突き上げで一転方針転換と迷走している。朝鮮人の戦時動員はわが国の研究でも明らかである(広瀬貞三「佐渡鉞山と朝鮮人労働者(1939-1945)」『新潟国際情報大学情報文化学部紀要』人文科学編3、2000.3)。推薦理由は、16～19世紀(戦国から江戸時代)の伝統的手工業による生産技術で世界最大の金生産地であったことにあるとのことだが、江戸時代にも過酷な重労働があったことを忘れてはなるまい(名和弓雄「佐渡の金山」『拷問刑罰史』改訂新版、雄山閣、2012)。歴史には必ず負の側面がつきまとう。そこをしっかりと認識してこそその世界文化遺産ではなかろうか。(飯澤)

地方史情報 154 2022年(令和4年)3月1日 発行

編集・制作 : 白鳥舎 hakucho@eris.ais.ne.jp

ウェブサイト公開 : 岩田書院 <http://www.iwata-shoin.co.jp>

〒157-0062 東京都世田谷区南烏山4-25-6-103 TEL03-3326-3757

*本誌は、140号より、PDF版のみの発行です。